

2020年3月15日発行(毎月15日発行)
1987年3月23日第3種郵便物認可
ISSN 1880-4993

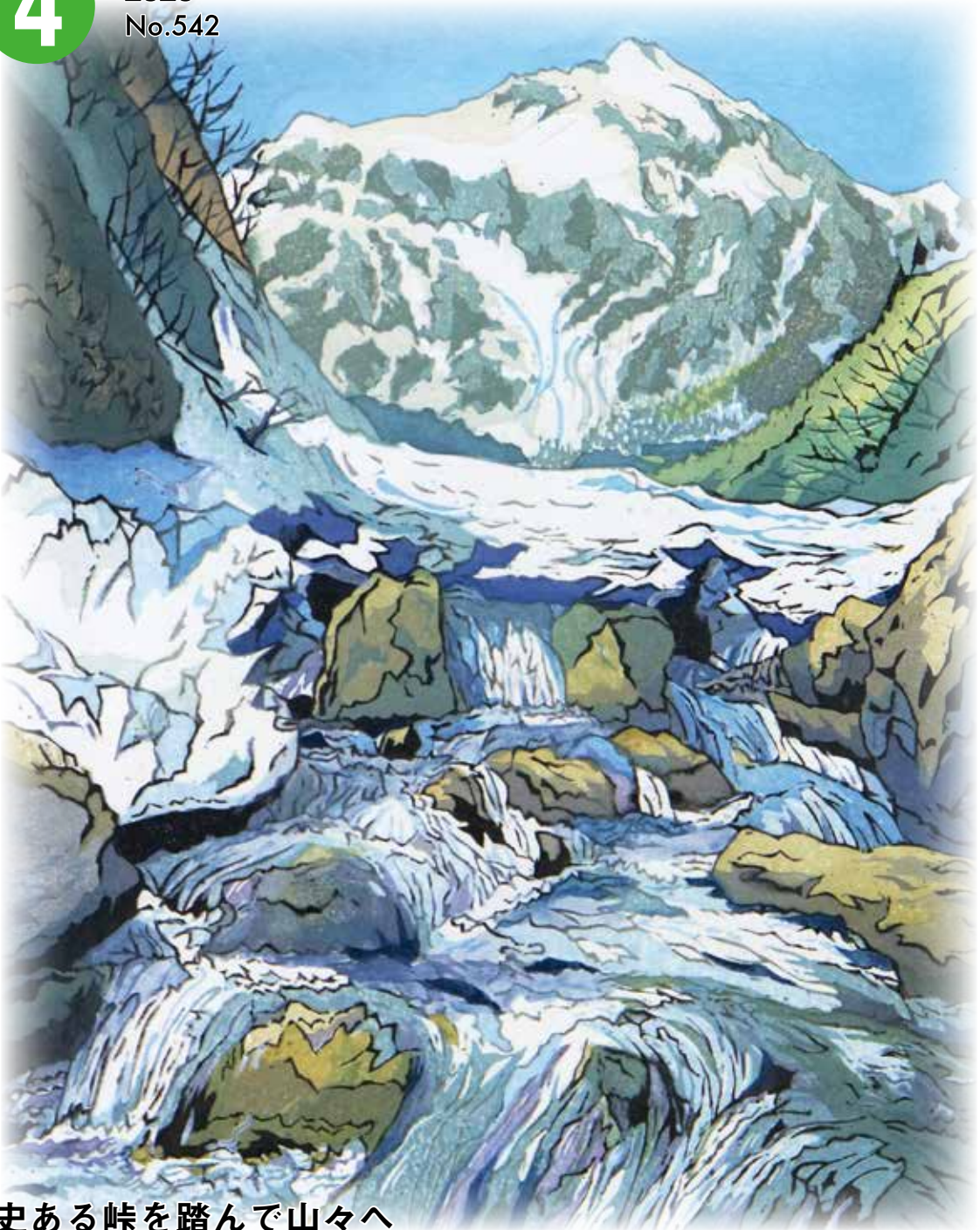
登山時報



日本勤労者山岳連盟

4

2020
No.542



歴史ある峠を踏んで山々へ

長崎・日見峠から烽火山へ / 滋賀・杉峠から雨乞岳へ / 栃木・六林班峠から皇海山へ

日本勤労者山岳連盟 第34回総会 報告

機関会議・集会

全国基金担当者会議 6月20日～21日
 労山創立60周年記念行事 6月21日(東京・神田明神ホール他)
 全国遭難対策担当者会議 7月4日～5日
 全国女性担当者会議 9月5日～6日

行事・集会

全国自然保護講座 7月11日～12日※場所調整中
 若手クライミング講習会 10月3日～4日(長野県・小川山)
 全国登山学校担当者交流会 11月7日～8日(三重県・御在所山)
 全国ハイキング交流集会 9月12日～13日(関東地方)
 全国自然保護集会 11月14日～15日※場所調整中

国際会議・集会

アジア山岳連盟理事国会議 6月19日(東京・お茶の水セントヒルズホテル)
 アジア山岳連盟年次総会 10月(中国・香港)

友好山岳団体との共同の集会・会議等

全国山岳遭難対策協議会 ※日程・場所未定
 第5回「山の日」記念全国大会 8月10日～11日(大分県・九重町)

※3月以降分。括弧内は場所、空欄の場合は東京・全国連盟事務所。

第4版

ハイキング セカンド・ステップ

Amazon
でも購入
できます

※送料や購入方法は
サイトで確認
してください

リーダー養成のための教材に！

改訂ポイント

- ◇第1章に「権利としての登山」「労山の発展と吉尾弘さん」の小項目を追加
- ◇第2章「リーダーの役割」を、昨年作成したDVD「目で見るハイキングA・B・C」との整合性をはかり、より具体的に記載

◎頒価 **400円** ※送料は全国連盟が負担
 (30部以上まとめてのご注文は1部につき350円)

◎ご注文

全国連盟事務局にFAXまたはメールで書名、部数、団体名、送付先を明記のうえお申し込みください。代金振替用紙を同封して発送します。

FAX 03-3235-4324 メール jwaf@jwaf.jp



中国の青いケシ 探訪記

—四川省編⑥—



写真・文
松永秀和

メコノプシス・プレウロギナ

四川省、羊拱山峠 標高 4300m

四姑娘山から130 km北にある羊拱山（ヤングシャン、標高4460 m）へ向かう。羊拱山は揚子江支流、大渡河と岷江の分水嶺となっていて、ここでは3種類の青いケシが見つかっている。ひとつは以前に紹介した赤い花をつけるM・プニケア。残りは今回紹介するメコノプシス・プレウロギナとM・ヒスピーダ。私が訪れた2013年はどちらもM・バルビセタとされていたが、その後、バルビセタ原採取地の年保玉則の種と異なっているため、2019年12月新種として発表されたものだ。この3種はよく似ていて専門家でない限り違いは分かりづらい。

私たちの車が峠に近づくとき、峠の上で、チベット族の人々がタルチョを立て、野外宴会のようなものを開いていた。酒も入っていて大声で何かを歌っているようだ。漢族のドライバーは恐れてそれ以上車を進めない。仕方がないので、峠まで歩いて登り、花を探することになった。後で聞くと、ヤースー（夏供養）というチベット族の祭で、人間に危害を加えないよう山の神に祈る行事だという。ドライバーは前年の旧正月に発生したチベット族と公安との衝突の報復を恐れたようだ。チベット族に対する漢族の微妙な心理を覗いた気がした。

歴史ある 峠を踏んで 山々へ



烽火山頂上（奥は烽火台）



烽火山頂上から長崎港方面を望む



石垣は日見峠番所跡

ひ み とうげ ほう か ざん
長崎・日見峠から烽火山へ

長崎街道の難所を踏んで、史跡を巡る

陸門良輔・川原一之 長崎あゆみハイキングクラブ

見トンネル西口で降り、案内に従って峠道の霧囲気を残す急な坂道を上る。途中には新茶屋（オランダ茶屋）の跡があり、道沿いには灯籠や臼、旅人が使ったという御手洗鉢が残っている。

日見峠から歩き始め、中尾峠、江戸時代に長崎への南蛮船渡来の警備でのろしを上げた烽火山（426m）、領主長崎氏の山城（砦）があったという城の古趾を訪ねるコースを紹介したい。

市街地からバスに乗って東へ約15分、日

長崎の市街は三方を山に囲まれているため、どこを通るにも峠を越えることになる。このなかでも有名な峠道である日見峠は、江戸時代の長崎街道で「西の箱根」と例えられ、旅人におそれられた険しい峠道だ。

やがて明治新道に出合う。この道は全国初の官営有料道路で、開削にダイナマイトを使ったのも初めてといわれている。堀切の入り口を標識に導かれて急な坂を上ると、全国でも珍しい地震石神社の鳥居が見える。その下が長崎街道で、すぐ近くに、関所の番人が詰めた番所跡である10mほどの石垣が残っている。それはお城の石垣を思わせるきれいな曲線で築かれている。

日見峠の由来は、ギリシタンを嫌った深掘軍や西郷軍が海側から攻め入ろうとした際に、裏をかこうと麓の網場宿で火を盛んに上げたので、火（日）を見る峠との名がついたという説と、長崎の人々が旧暦8月1日の八朔の日にこの峠に来て、雲仙普賢岳から昇る太陽を拝んだことから日見峠となったなどの諸説がある。

街道を外れて北に進み、節の長い珍しい竹林や雑木林を抜けると中尾峠に出る。ここは江戸時代から昭和20年代まで、麓の農

風頭山からの遠望
中尾峠、日見峠は右奥方向



雷神社鳥居

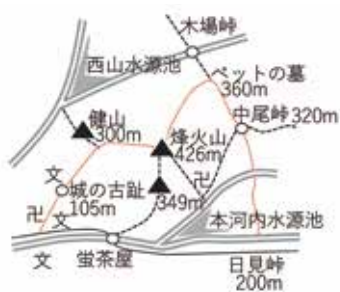


城の古趾にある長崎代官・末次平蔵の祠

家が長崎の町に野菜を運んだ峠道で、篤農家の像が故郷に向かつて建っている。北方面へ尾根に沿ってなだらかなルートを進むが、イノシシが掘り返した石ころが多くて歩きにくい。西山水源地に続く木場峠への分岐に出るが、ペットの墓地になっている。車輪の幅に合わせた2本のコンクリート道がしばらく続き、高圧線の鉄塔を過ぎると、烽火山への標高差50mの急登になり、ロープや木の根をつかんでの登りでひと汗かく。

烽火山は元の名を斧山おのやまと言いはげ山だった。島原の乱以後、頂上に長崎の港を警備するのろし台(烽火台)が作られ、名前も烽火山となり、軍事要塞基地となつて一般の人は近づくこともできなかった。直径約5m・深さ2mの烽火台は、県の文化財に指定されている。長崎港方面の展望は開けているが、樹木が成長し他方はすっきりしない。

北西方面の健山たてやまへ向け、滑りやすい枯葉に気を付けて下る。



日見トンネル西口バス停>20分>日見峠>45分>中尾峠>45分>烽火山>45分>城の古趾>10分>春徳寺

(山行…2020年1月21日)

長崎氏の山城であったと伝わる場所や、片淵中学校の校舎の横を通つて城の古趾という小高い森になった岩山には、ドルメン方式(古代の朝鮮式)の祠があり、長崎代官末次平蔵の祠が残っている。

また、この地は昔、良い墓石が取れ、その跡が崖になっていたため、長崎旁山の先輩たちは岩登りの練習をしたそうだ。

墓地をぬけると、ルイス・アルメダーがキリスト教を布教する拠点にした跡地があり、現在は春徳寺しゅんとくじになっている。この付近は長崎街道の傍で旧跡が多いため、史跡巡りにはもってこいの場所だ。

山の木版画ができるまで



月に一度、労山事務所に登山時報が納品される。手にとるとまず目に飛び込んでくるのが表紙画だ。杉山修さんの木版画が2017年から表紙を飾ってくれている。鮮やかでどこかあたたかみのある色合い、ふっくらとした線で描かれた山岳風景、これを眺めるのが私には癒やしのひとときになっている。

木版画は、版材を彫って凸部をつくり、この版木に絵の具をのせて、紙を押さえて色を写し取る（摺り）という技法で、たとえば本号「雪融けの横尾谷」は、6枚の版木を用いて30回色を重ねてある（6版30摺）。

どのように山の木版画がつくられるのか、東京都台東区にある杉山さんの工房を訪ねて製作工程をうかがってきた。

作業台に下絵や版木など並べて説明してくれた。個展会場で実演・ワークショップを行うこともある

頭に設計図を描き、色を重ねて絵をつくる

木版画は、江戸時代後期の錦絵がその技法の頂点といわれ、当時は、絵師、彫師、摺師による分業でつくられていた。現在は作家がすべて自分で行うのが

普通だ。若い頃から山岳会に所属して山に登ってきた杉山さん、木版画をつくって40年になる。

まずはじめは、山でのスケッチ。後日、色と色との境界を明確にしたり構図を整理したりして、下絵を描きあげる。その後、2、3日かけて、何枚の版木でどの色を摺るのか「設計図」を頭のなかに描いたら、版木づくりに取りかかる。版材は朴^ほまたはシナベニヤ。下絵をトレースして彫刻刀で彫るが、多色摺りでは色ズレを防ぐための「見当」が欠かせない（写真参照）。

続いて、摺りへ。まずは版木に絵の具をのせてブラシで伸ばす。版木に和紙をのせて、そのうえからバレンをあてて絵の具を紙に圧着させる。

「一番楽しいのは摺り。どんな色を重ねて『絵をつくっていく』っていう感覚がすごく楽しいですね」

紙は水分を吸うと伸びるので、扱いには気をつかう。

「湿った状態で摺った紙は、ビニールにはさんで乾かないよう



左「マッターホルン黎明」（9版28摺）、右「マッターホルン投影」（7版32摺）、いずれも370mm x 290mm。「同じ版木でも、色を変えることで表現を変えられる。これは木版画の面白いところだ」

にする。それでも乾いてきたら霧を吹いて、一晩休ませる。色を重ねると、同じ場所に水分が入って紙が波打ってきちゃう。だから、重石を置いて休ませて、翌日また色を重ねて摺っていく。紙が伸びたり縮んだりする面倒をみるわけです」

材料・道具に職人技あり

和紙は福井県越前市、旧大滝



摺り。本来は版木の上に和紙をのせて、その上からバレンをあてる



「教会のある村ラウターブルンネン」(11版33摺 260mm x 220mm)
奥中央がスケッチ、その左下が下絵のトレース、右が完成した版画。
手前が版木で、かぎ見当とひきつけ見当がつけられている



貝殻を粉にした水干絵の具。混ぜて求める色をつくっている



バレンの表面と中身(左)。ブラシも彫刻刀も数種類を使い分ける。「1個のブラシじゃ仕事できません」



村の山口さんが漉いたもの。

「30色摺っても毛羽立たない。パルプ紙だとぼろぼろになる」

丁寧な仕事に十分応えてくれる道具もある。摺りに使うバレンは、江戸時代にも使われていた。漆塗りの円形の型を竹皮で包んだもので、型の中には編んで巻いた縄が入っている(写真参照)。縄の太さ、摺りの加減で、細い線やべったりした面など多様な表現ができる。何色を、どこを摺るかによって、複数のバレンを使い分ける。漉き元・山口さんも90歳を前に廃業するなど、こうした材料・道具をつくる職人は少なくなっている。

「木版画は、絵描きだけではできなくて、職人さんたちの知識、技術の継承があつてはじめて継続できていく技法です」

「たかが富士、されど富士」

ヒマラヤ、アルプスなど海外作品も多数ある杉山さんだが、特に近年は富士山に取り組んできた。



杉山修(すぎやまおさむ)さん
1946年東京都台東区生まれ。若い頃は谷川岳ーノ倉沢へ毎週通っていた。30代半ばから山でスケッチを始め、次第に木版画にのめり込む。日本山岳画協会会員、吉田版画アカデミー会員

※本誌2017年1月号35ページ参照
※ホームページは
<http://osamuhanga.com/>

「いま73歳で、体力がいる大型の作品はこれで最後。何を摺るかと思つて、やっぱり富士山だと。『富士山やるぞ』って言ったら、ある画家に『もう富士山か』と言われたの。吉田博が『富士は怪物だ』と言い、横山大観も、葛飾北斎も描いている。永遠のテーマですよ。そこにどう個性を出すのかって(笑)」

(本誌・渡辺明)



1976 年秋、マイクトリ（6803 m）⇄デヴトリ（6788 m）
交差縦走時の一コマ

LIMIT

NO

10 数年前のこと、自身の海外登山回数を数えてみたら、その時点で 6000 m 未満の山を含めなくても 50 回を超えていた。我ながらこれは尋常ではないな、自分は本当に山が好きなんだなあ、と実感した。その後

も現在に至るまで切れ目なく登山を続け、78 歳を迎えた昨年までに 6000 ～ 8000 m 峰の登山は延べ 82 回を数えている。

新しい職場の先輩に誘われて軽登山に触れたのを契機に登頂時の達成感に目覚め、以後次第に岩登り・冬山・海外登山と活動領域を広げ、登山歴は満 61 年になる。昔の折々の山岳雑誌を開いてみると私と時期を重ねて活動した有名クライマーでも、長く活躍している例は稀で、そんな中で私は今でも現役で登り

私は 1941 年 11 月、名古屋で画家だった父と専業主婦の母の下に生まれ、幼少期を戦時下で育てられた。終戦直後の混乱期に 2 歳下の弟が事故死するという不幸があったが、2 年後に妹が出来た。ところが当時猛威を振るっていた肺結核に罹患した父が志半ばで隔離療養を余儀なくされ、残された母はもちろん働き始めた。日本全

体も貧しい時代だったが、我が家は文字どおりの超極貧生活を送った。中学生時代には全級テストで 2 年連続学年 1 位になるなど頭は悪くなかったと思うが、進学は叶わず、57 年中学卒業と同時に親方が 1 人で営んでいた零細印刷所に就職。

2 年後 17 歳時に父の知友の仲介で上京・転職。なお、この 59 年暮れには父が 10 年間の闘病虚しく 50 歳で死去した。

限りなき山行

15

写真・文 近藤和美

私の足跡 駆け足自己紹介

続けている。本稿のメインタイトルを「NO LIMIT」とさせていただいた所以である。

65年に縁あって労山に加入。70年に全国連盟常任理事に就き、教育指導委員、出版委員、海外委員、労山遭対基金管理委員などを歴任。

国内では関東・中部・東北の主だった山にはほとんど足跡を残したが、特に鹿島槍北壁・荒沢奥壁、不帰東面、越後荒沢山東面などでいくつかの冬季初登攀を成した。

72年に初の海外登山としてアルプスに赴き、マッターホルン北壁ほかを登攀。

76年、17年間勤めた会社を辞し、初のヒマラヤ遠征として労山都連盟隊を率い、インドの6800m峰2座を交差縦走（近藤の造語で、以後定着）。

77年から労山が発行していた月刊誌「山と仲間」の編集に携わり、それまで夏山・低山主体だった同誌の編集レベルを先鋭登攀や海外高峰登山分野に引き

上げたという自負を持つ。

編集部を辞した84年以降パミール・天山に通い、7000m峰全5座を完登してソ連岳連から「雪豹登山家」称号を授かる。

それまでに培った経験を基に88年からは労山内の人材育成を主旨として開講された高所登山学校の校長（登山隊長）を2010年まで務めた。

一方、92年50歳にして初めて8000m峰を目指し、チョーオユーに無酸素登頂。

94年からは労山8000m峰登山隊も組織し、2010年まで一貫して高峰登山分野の人材育成と機会提供に尽力。8000m峰11座登頂に導くと共に、登山界に於ける労山の存在感向上に大きく寄与したという自負を抱いている。

11年以後も含めて8000m峰に24回挑み、自身も9座に延べ10回登頂したが、うち6回は無酸素登頂。61歳のガッシャールブルム2峰は8000m峰無酸素登頂の日本人最高齢記録で、

16年間更新されていない。

青壮年期には一線級クライマーを自負していたが、加齢と共に近年はピークハンター化していると自覚している。



2006年10月、ネパール登山協会との合同隊で挑んだ日本ネパール修好50周年記念ナンバイゴスム南峰（7240m）初登頂時の登攀シーン



1992年1月に日本人初登頂となった（らしい）アスパイアリン（3033m ニュージーランド）。ヒマラヤ以外にもガイディングを主体としてキリマンジャロ4回、デナリ（マッキンリー）3回、アコンカグア8回など他大陸の山も登っている。



原田勇成の

白神便り

| 第32回 |

ブナの花

ブナの花を見たことがあるだろうか。まったく地味で何の色気もない花だ。写真で枝先からブランと垂れているのが雄花、分かりづらいがツンと上を向くのが雌花だ。背後は山桜。早い年であれば4月中旬、遅くても下旬には芽吹きと同時に花を咲かせる。とはいえ、毎年花を付けるブナは多くはなく、数年に一度というものが多い。ちょうどタイミングが合ったらしく、一昨年は十何年かぶりにブナが一斉に花を咲かせ、秋口には記憶にないほど多くの実を生らせた。この年の春は、森が黄色いブナの花粉に覆われ、霞むほどだった。そして、その反動からか、昨年は稀^{まれ}にみるブナの凶作となった。

必ず出てくる。「今年はいっぱい花を付けたな」や「全然咲いてないな」という具合に。何故かと言われるとその理由は定かではないが、ブナの実の出来不出来によって、その秋以降の動物の動きや自然の営みを知らず知らずのうちに予感しているのではないか。ツキノワグマやニホンザルなどの獣の動きは、人の生活に直接影響を与えるからだ。

ここ青森県深浦町は日本海から一歩陸に上がるとすぐに白神の森になる。人が住む狭いエリアのすぐ裏はもはや奥山であり、野生の動物たちの生息エリアとなっている。いつの間にかブナの開花状況がその年の自然環境を占う春の関心事になってきたのではないか。令和2年の春、果たしてブナの花はどれだけ咲くのだろう。

登山時報

4 APRIL.2020
No542

CONTENTS



表紙の木版画
「雪融けの横尾谷」
杉山修

穂高連峰がまだまだたっぷりと残雪を抱えている時期、
沢筋ではもう春の準備がはじまっている。
いつもより多めの水量に溪声も聞こえる。
すこし陽気も良くなって、光が眩しい。
これから訪れる涸沢の大観に心躍る。

- 01 連載 中国の青いケシ探訪記 松永秀和
- 02 歴史ある峠を踏んで山々へ
長崎・日見峠から烽火山へ 陸門良輔・川原一之
- 04 山の木版画ができるまで
- 06 連載 NO LIMIT 限りなき山行 近藤和美
- 08 連載 白神便り 原田勇成
- 10 ふみあと 労山 60 年 創り出そう 21世紀の登山文化を
- 11 連載 子づれ山さんぽ 武井真理
- 12 歴史ある峠を踏んで山々へ
滋賀・杉峠から雨乞岳へ 呉本寿子
栃木・六林班峠から皇海山へ 森初芳
- 14 沖縄 奪われた山々のこと 中石求
- 16 連載 山登りのための やさしい気象講座 野尻英一
- 18 シリーズ いまさら聞けない!? 雪崩対策 酒井正裕
- 19 連載 ネパール温泉紀行 石原裕一郎
- 20 連載 アドベンチャー・トラベル 大蔵喜福
- 22 JWAF CLICK
新規加盟団体の紹介
マンガ フウフウハアハア 村松孝一
- 24 日本勤労者山岳連盟 第 34 回総会 報告
- 27 全国連盟の活動
- 28 専門委員会活動報告
- 30 えつらん室 記念誌・年報誌
- 33 ひと 赤間淑江さん
- 34 連載 クイズ 地図読み迷人 宮内佐季子 小泉成行 監修：村越真
- 36 山の仲間を結ぶ会・クラブ紹介 オレンジハイキングクラブ
- 38 地元会員特選ミニガイド 桧沢岳（群馬） 島田恭司
- 39 筑井孝子のちょっと絵をうまく描こう / あらかると 石井光造
- 40 連載 オススメ山道具 山の基礎装備 薄手の手袋 笹原芳樹



「登山時報」はリサイクル可能なソイインク
(大豆油インク)を使用しています。

労山60年 創り出そう 21世紀の登山文化を

全国労山は、2月に第34回総会を開催。この1年間の活動の総括と、これからの活動方針を決定した。スローガンとして「労山60年 創り出そう 21世紀の登山文化を！」を掲げた。今年は全国労山が創立されてから60周年で、新たな登山文化を創り出しながら、労山運動を前進させていく決意を込めたものである。

90名のハイキングクラブの会が労山の良さを理解できずに労山を脱退する―などだ。全国には、会員拡大で頑張っている会・クラブが数多くあり、新たに加盟する会・クラブもあるが、会員の減少に会員・仲間増やしが追い付いていないのが現状である。

各地方連盟の代議員から、会員が減少している実情、また、会員拡大や新たに会・クラブを設立して仲間を増やしている経験が報告され、「仲間がいるから、登山ができる」「仲間がいるから、自然保護などのいろんな運動ができる」のではないか、という発言もあり、労山の仲間増やし運動を前進させる意見・討論も行われた。

総会では、会・クラブに労山の魅力を知ってもらうために、会・クラブの運営や連盟費の使い方、安全登山のために地方連盟に支援している内容など、労山の魅力を満載したパンフレットを作成し、会・クラブに無料で配布することを決定した。また、代議員から労山基金の改善の意見が出され、労山基金をさらに充実させるための検討を行っていることにしている。

全国労山創立60周年記念式典・レセプションは、6月21日東京で開催する。また、アジア山岳連盟理事国会議が6月19日、全国労山の主管東京で開催される。

(浦添嘉徳／日本勤労者山岳連盟 理事長)

2019年4月

神奈川県川崎市／東京都稲城市
多摩丘陵 栗平台～五月台駅

七瀬 3歳9カ月

タイム◎ 10:20 栗平駅 (小田急多摩線)
～10:40 五力田見晴らし公園～10:55 白鳥小台公園 (しばらく遊ぶ)～(私有地の畑を縫って進む道にあるたんぼ畑)～12:20 送電鉄塔 (昼食休憩)～13:15 五月台駅 (小田急多摩線) ※新百合ヶ丘駅まで歩けるコースもあり

参考◎小田急沿線自然ふれあい歩道マップ No.62 栗平駅～五月台駅 (小田急多摩線 ※小田急の各駅のチラシスタンドで無料配布)、「あさおウォーキングマップ～多摩線沿線地区 コース4」(麻生区ウォーキング推進実行委員会 ※神奈川県川崎市麻生区役所等で配布。Webサイトでも公開)

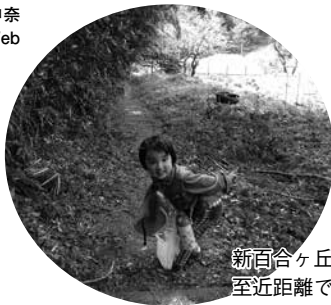


水筒を自分で肩掛け。

たんぼ畑。多摩線沿いは、近年新設された駅もあったり、宅地開発が今も続いている地域。良い原っぱが次に来たら無くなっていた…ということも。ここもすぐ近くまで宅地開発の波が。貴重なお花畑。



直飲みタイプの水筒で飲めるように (3歳過ぎまではずっとストロータイプを愛用)。



新百合ヶ丘から至近距離でこんな道が楽しめる

できるかな？
行ってみよう！
子づれ 山さんぽ
vol.34
やま

武井真理 カモシカスポーツ

七瀬 2015年6月生まれ
峻 2018年7月生まれ

多摩丘陵の春は、小さな山々の若葉に、様々な種類の桜の色が映え、美しいです。新百合ヶ丘のような市街地然としている所からこんな近くに桃源郷のような風景が…と驚きます。

小田急多摩線の駅から駅へと歩け、4km足らずと短い中にも多摩丘陵の美しさが詰まったこのコースは、七瀬0歳時より、おんぶやベビーキャリー使用で何度も歩いてきました。第2子・峻妊娠&誕生に伴い、七瀬は2歳半以降はベビーキャリーに乗る機会がなくなっていました。

日常生活では、毎日の保育園登園等しっかり歩けるようになり、峻をベビーカーに乗せ、七瀬はその隣を歩くように。また、峻誕生後は私と七瀬で出かけることも減っていましたが、久々にふたりで歩きに行きました。(峻と夫は留守番)

普段の歩きっぷりから、歩き通せるだろうと歩けなくなった時の補助具はなし。水筒も自分で肩掛

けにして、栗平駅を元気にスタート。

住宅地を抜けると、稲城市と川崎市の境の尾根道へ。稲城市平尾の団地群を下に望みながら歩いていきますが、途中柵が壊れていた、柵がなく崖のような箇所があったり、小さい子づれで行くには注意が必要な区間。この道をまっすぐ進むこともできませんが、この時は、一旦下りて、公園やたんぼ畑で寄り道して遊びながら進みました。

送電鉄塔の下のお原っぱでお弁当休憩。以前このコースを歩いた頃は、まだ授乳中だったり、ひとりではうまく食べられなかったりでしたが、もうすっかり自分で食事できます。また、以前は昼食後はお昼寝態勢に入っていたので、すぐベビーキャリーに乗せて昼寝させていましたが、体力もついてきて、昼食後も駅まで歩き、さらに電車を経て、自宅へも歩き通しました。(帰路はさすがに「つかれたー」を連発していましたが)のんびり春を楽しんだ一日でした。

杉峠から雨乞岳へ登り返す



雨乞岳の山頂からの遠望



歴史ある
峠を踏んで
山々へ

滋賀・杉峠から雨乞岳へ 信長も歩いた古道を辿る

呉本寿子 滋賀山友会／滋賀

計画ルートは、滋賀県東近江市と三重県菰野町とを結ぶ山越古道「千種街道」(千草と表記されることもある)と呼ばれる道で、雨乞岳(1238m)まで登り返しが大きいロングコースである。中世当時どのような道であったか想像するが、ともかく冬山、整備の入っていない山道だ。メンバーは、各々が歴史通または鈴

鹿7座目という濃い仲間である。

登山道の傍にある千種街道の案内板はぜひ見ておきたい。

1570年4月、織田信長公が敵襲から逃れるために、京から尾張への最良ルートとして千種街道の杉峠を通過して移動した。滋賀から三重への最短ルートだが、現代人の脚力では強行軍となる難コースだ。

山道に入ってから杉峠まで数ヶ所の名所がある。織田信長公が狙撃された杉谷善住坊隠れ岩、桜地藏尊、ツルベ谷出合の古屋敷跡、蓮如上人旧跡など。

杉峠は、かつて人が往来して

おり茶屋があった。雨乞岳と北側のイブネとの鞍部で、以前は青々とした三本杉があった。今では一本の枯れた杉だけになってしまったが、この一本杉が杉峠の目印にもなっている。杉峠から南へ登った雨乞岳は、琵琶湖の源流で、シデの並木、一反ぼうそう等が自然に生育している。琵琶湖にとつ

ても、この自然環境がなくてはならないと感じる。

山行当日は、積雪による倒木等で荒れていた車道が通行できるようにになった。快晴で、膝まで積雪があり、杉峠より雨乞岳へラッセルして山頂。三重の御在所山や鎌ヶ岳、滋賀の綿向山や近江富士(三上山)も見える。食事をしても楽しい場所である。

毎年、東近江市の年間行事に4月下旬「千草街道を往く」がある。登山初心者には千種街道がトレーニングにもなり、お勧めである。

(山行…2017年4月2日)



パーティ3名

8:15 甲津畑登山口～8:45 善住坊隠れ岩～10:00 蓮如上人旧跡～12:00 杉峠～12:55 雨乞岳 13:50～14:30 杉峠～15:45 蓮如上人旧跡～16:35 善住坊隠れ岩～17:00 甲津畑登山口

※当日は登山口まで自家用車を利用。甲津畑バス停までのバスは1日3本のみ。

歴史ある
峠を踏んで
山々へ

栃木・六林班峠から皇海山へ 藪漕ぎ必至の静かなルート

森初芳 マウントアンサンブル／栃木（元・庚申山荘管理人）

かつて、足尾銅山のための木材伐採後、山にカラマツを植林した時期があった。植林は六班単位で行われ、一の鳥居から一番遠い県境の元の女山峠を担当したのが六班だった。以来、当地は六林班峠と言われるようになった。現在は背丈を超える篠竹の藪が深く、道迷いが多い。

百名山の一つ、皇海山（2144m）登頂を目指す登山者の多くは、庚申山→鋸山→皇海山コースを往復する。ここでは、庚申山荘を起点として、六林班峠を踏んで皇海山へ至るコースを紹介する。

稀にこのコースで皇海山に向かうツワモノがいる。藪漕ぎ承知で、体力も装備も技術も自信も持ち合わせているのだろう。上にこのコースを採るのは、下

りに使うより安全度は高い。方向を見定める大きな目標物になる山が二つもあるからだ。女山と鋸山である。尾根道を外さない限りアタックできる。逆に、皇海山の下山路として六林班峠を踏むコースはお奨めできない。女山を過ぎれば大きな目標物は見当たらず、藪の中で道迷いしやすいからだ。

遭難事例…六林班峠で 獣道を登山路と見誤る

庚申山荘を早朝に出発した何組もの皇海山往復パーティが、午後四時を過ぎると次々と戻ってきた。最後のパーティが「あと一人、単独行の人が帰って来るはず」という。日没が迫っている。鋸山あたりまでは、後ろ

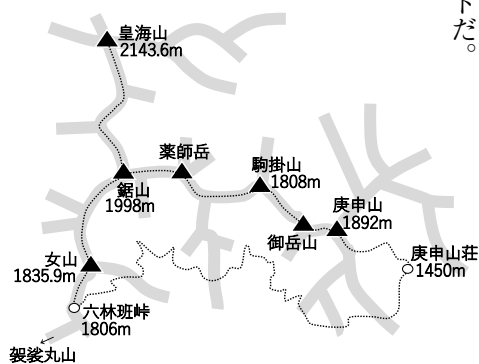
から降りてきていたという。私は迷うことなく六林班峠に急行。途中、何度も「オーイ！」と呼びかけると、微かに応じる声があった。声を頼りに無事に発見することができたが、顔も手足も擦り傷だらけであった。この人は、腰をかがめてトンネルのようになっている踏み跡を見つけ、気が付いたら沢に下りていたという。鹿道を登山路と見誤ったのだ。

庚申山荘



六林班峠（太田ハイキングクラブ提供。同会では、2017年7月に鋸山から六林班峠間などに道標の取り付けを実施）

山荘→六林班峠→男山→袈裟丸山のコースを採った健脚のご夫婦がいた。登山者が少なく藪漕ぎもあるが、男山という目標物もあり、尾根筋を外さない限り、等高線を読んだ展望のよいルートだ。



沖縄本島の北半分は山国である。石川岳から北に恩納岳・ブート岳・熱田岳・久志岳・辺野古岳、名護岳、八重岳、嘉津宇岳、多野岳、塩屋富士、ネクマチジ岳、玉辻山、伊湯岳、与那覇岳・照首山・西銘岳・伊部岳と列をなして続いていく。いずれも500mにも満たない低山であるが、そこは亜熱帯の島、どの山も広葉樹林に覆われた常緑の深い森をつくっている。

沖縄労山はこれらの山々への日帰り山行を毎週のように楽しんでいる。願わくば石川岳を基点にこれら連山を数日かけて縦走したいとの夢があるが、叶わぬ果ての夢になりそうである。

さて、「奪われた山」の話に移ろう。右にあげた山々のうち、恩納岳・ブート岳・久志岳・辺野古岳の4山は、沖縄戦の終結と

同時に米軍がその海兵隊の演習場として接収・占領し、今も沖縄県民の立ち入りは禁止されている。恩納岳、久志岳とともに沖縄屈指の美しい山である。戦後75年を経てもなお、私たちはそこに足を踏み入れることはできない。実にやるせない現実ではないか。

こうした事情ゆえか、恩納岳は別として、ブート岳・久志岳・辺野古岳は、沖縄県民でさえその名を知らない人が多い。また、山と溪谷社刊『沖縄県の山』（新・分県登山ガイド46、2010年7月10日初版第1刷）でも、この4山の紹介はまったくされていない。

恩納岳・ブート岳

恩納岳は沖縄本島の中部に位

キャンプ・ハンセンから望む恩納岳（左）とブート岳（右）



置する山で、名山として古くから歌にも詠まれて親しまれてきた。東と西に海岸まで緩やかに伸びた山稜の線が美しい。標高は363mにすぎないが、どの角度からみても泰山を思わせる風格がある。

ところが、米軍は戦後、恩納岳・ブート岳周辺5472km²を海兵隊の軍用地として接収し、1957年、その東側の金武町に「キャンプ・ハンセン」を設営した。以後「キャンプ・ハンセン」では、各種銃器の実弾を用いた射撃訓練が行われている。特に、恩納岳と隣のブート岳には「着弾区域」に指定されたエリアがあり、ここに155ミリ榴弾砲を頻繁に撃ち込んでいた。本土復帰後も撃ち込みは行われている。砲弾の炸裂、あるいは山林火災で亜熱帯樹林に覆われていた広大な森は削りとられ、赤い山肌が露出したことは言うまでもない。射撃訓練は県道を封鎖して行うもので、これは沖縄県民の激しい怒りを呼び、1997年以降は中止されたままになっている。

沖縄奪われた山のこと

—恩納岳・ブート岳・久志岳・辺野古岳—

中石 求
はないかだコザ／沖縄



恩納海岸から望む恩納岳



恩納岳の山稜が西に入る恩納海岸は、一年を通して国内外の観光客がバカンスを楽しむ有数のリゾート地だ。美しい海岸線とビーチが魅力で、リゾートホテルが林立しており、恩納岳の容姿も華をそえている。だが、国道58号線を隔てた道向こうは米軍の実弾演習場で、恩納岳も囲まれて入ることができない。米軍の演習場と背中合わせの南国リゾート。沖縄ならではの皮肉なコントラストではないか。

久志岳・辺野古岳

名護市辺野古の米軍海兵隊基地「キャンプ・シュワブ」は、20781km²の広大な土地を戦後すぐに軍用地として接収・占領して設営されている。ここは海兵隊の実弾演習場で、その真ん中に標高351mの久志岳と332mの辺野古岳があたかも兄弟のように寄り添っている。久志岳の凛々しく天を突く山容はハッとさせる美しさがある。だが、その東麓ではいつも銃声が響き、実弾が飛び交っている。私たちが立ち入ることはできない。

いま「辺野古」は世間の耳目を集めている。日本政府と沖縄、あるいは政府とアメリカの関係性が問われる際に必ず持ち上がる地名になっている。「キャンプ・シュワブ」も全国的にその名が知られるようになった。この「辺野古」というのは辺野古岳ではなく、辺野古岳から真正面に望める海のことである。米軍の普天間飛行場の移設先として、

「キャンプ・シュワブ」沖の海を埋め立てて新たに飛行場を建設して米軍に提供することの是非をめぐる「辺野古」である。一方、辺野古の山である久志岳・辺野古岳は、すでに75年前に米軍に奪われたままである。今また、今度は日本政府が、辺野古の海まで奪おうとする暴挙に出ていることを沖縄県民は悲しんでいる。「辺野古」の山の現状も知ってほしいとの気持ちで、久志岳・辺野古岳を紹介している。

最後に、久志岳に一時期入山していたエピソードを。久志岳の西麓方面の米軍の管理はもともと緩やかだった。これ幸いと沖縄労山は2008年頃から度々入山して山頂まで山行を楽しんでいた。当初は防衛施設局も「おっぴらにしないように」とだけ言ってこれを黙認していたが、このニュースは瞬く間に知れわたり、旅行会社の久志岳登頂ツアーまで組まれてしまった。これが防衛施設局の管理強化を呼び、2016年以降はまた入山できなくなってしまう。



山登りのための やさしい気象講座

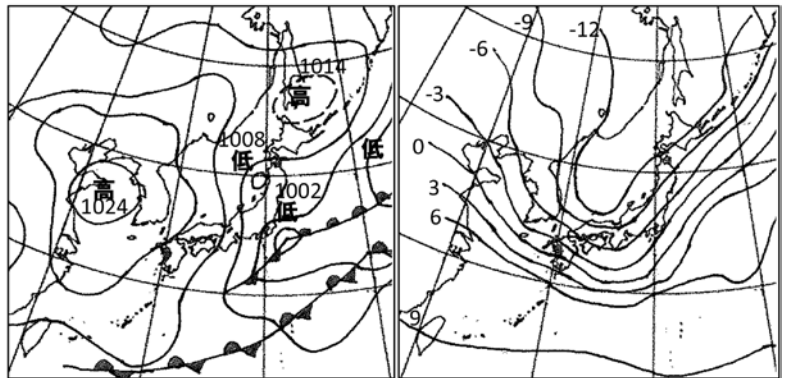
気象予報士・野尻英一

今月は低気圧を取り上げる。
低気圧と言えば、普通は「温帯低気圧」を指すが、一口に温帯低気圧と言っても実はいくつか種類があり、悪天候の傾向にも異なるところがある。ゴールドウェイーク（GW）の低気圧の実例を紹介しよう。

最初は、前線を伴う「一般的な温帯低気圧」。図1は昨年4月27日の天気図だが、関東の東にある低気圧がそれだ。一般

GW 時期は冬山並みの風雪に要注意

図1 2019年4月27日の天気図（左）と上空700hPa（約3000m）の気温



低気圧（関東東南、1002hPa）は寒気と暖気の境にある。低気圧の西側で寒気が南下。

寒気と暖気の境に低気圧があることがわかる。低気圧の周囲は反時計回りに風が吹くので、低気圧の東側で温かい空気が南寄りの風によって北上し、西側では北寄りの風で寒気が南下している。GW時期は特に低気圧の通過後の北風による気温の低下と冬山並みの風雪に要注意だ。

このときも4月

27～28日にかけて北アルプスの立山や北ノ俣岳で遭難事故が起きている。

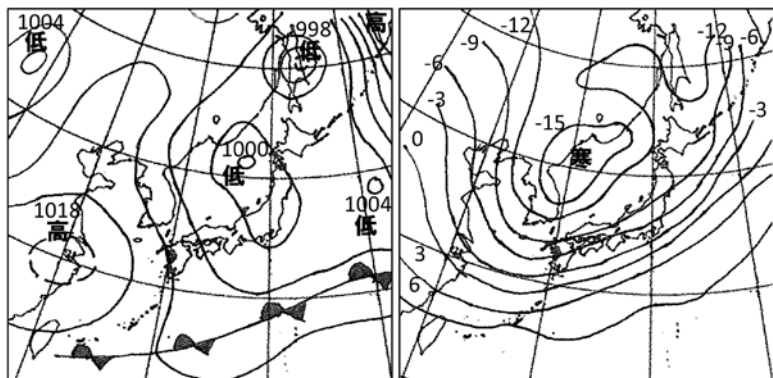
低気圧が接近すると、一方に掃いたような高い巻雲が現れ、やがて空全体を覆うようになり、次第に雲が厚く、低くなると、雨や雪になる。山では、

上空の雲とは別に下界の方にも層雲が現れることが多く、両方の雲が次第に厚みを増して合体して、山全体が霧に包まれ本格的な悪天になる。このように天気は時間とともに悪化していく。山の稜線では、晴れていても低気圧が近づいてくると西の空が白っぽくなるので、低気圧の雲の接近を数時間前に知ることができる。低気圧の構造や雲の分布については、解説しているホームページが多くあるので参考にしてほしい。

上空の寒気があっても 低気圧が描かれない

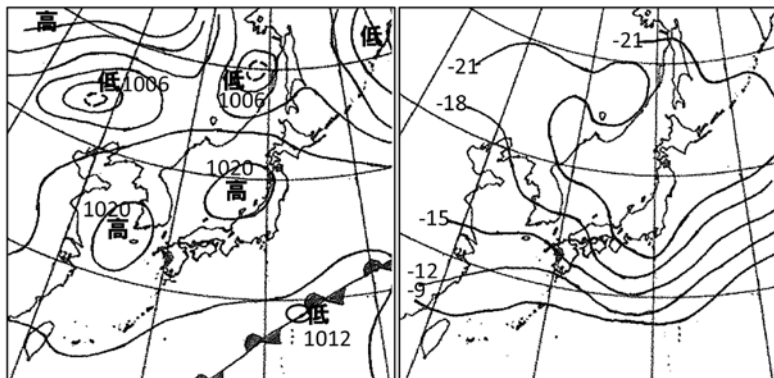
次のタイプは、上空に強い寒気を持つ低気圧で「寒冷低気圧」と呼ばれている。図2の天気図で日本海中部の低気圧がそれだ。右に上空の気温を示したが、「一般的な温帯低気圧」とは違って低気圧と重なるように上空に強い寒気がある。寒冷低気圧の勢力圏では上空の寒気のため大

図2 2013年4月26日の天気図(左)と上空700hPa(約3000m)の気温



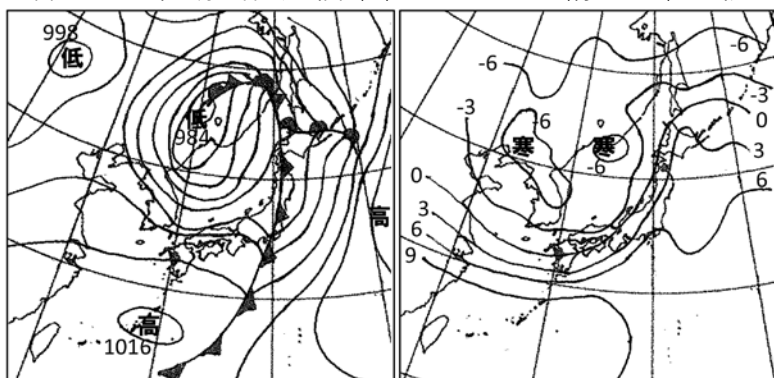
低気圧(日本海、1000 h Pa)は強い上空の寒気のはほぼ中央にある。

図3 2019年5月4日の天気図(左)と上空500hPa(約5500m)の気温



関東は北海道から延びる強い寒気の勢力圏にあるが、天気図ではわからない。

図4 2016年5月4日の天気図(左)と上空700hPa(約5700m)の気温



南北に貫く寒冷前線が東日本を東進している。前線の前後で気温の違いがある。

GW時期の天気図をみてきたが、この時期は夏日や真夏日の便りも届く一方、上空には2月末〜3月並みの寒気が入るタイミングが必ずあり、変化の幅が大きい。天気予報で低気圧や寒気に注意するのはもちろん、晴れて気温が上昇したときも、雪山では前号で紹介したように雪質変化が危険をもたらすこともある。

GW時期の天気図をみてきたが、この時期は夏日や真夏日の便りも届く一方、上空には2月末〜3月並みの寒気が入るタイミングが必ずあり、変化の幅が大きい。天気予報で低気圧や寒気に注意するのはもちろん、晴れて気温が上昇したときも、雪山では前号で紹介したように雪質変化が危険をもたらすこともある。

気が不安定になり、雷やにわか雨など天気が急変する危険がある。図2のときにも北陸から東北地方で雹の降ったところも多かった。寒冷低気圧は前線を伴わないのが特徴だ。低気圧の特に南東側で天気が悪い場合が多

いと言われている。周囲には強風帯がある場合があり、山では急に強風が吹き荒れる可能性がある。あることにも注意したい。また、上空の寒気があっても天気図に低気圧が描かれない場合も多い。図3が昨年5月4日

の天気図で日本付近は高気圧に覆われ低気圧はないが、上空の気温をみると強い寒気が入っていた。筆者は当日、筑波山に登っていた。筑波は絶好の好天だったが、神奈川県丹沢では落雷で1名死亡する事故があった。

最後に、寒冷前線について触れたい。図4の天気図では東日本を寒冷前線が縦貫しているが、春や秋は日本列島の北を低気圧が通過する場合には、このような南北に長く延びる寒冷前線が西から東に通過するときがある。寒冷前線が近づくと

いまさら聞けない!?

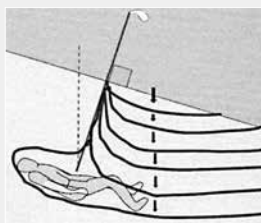
雪崩対策

最新の動向を踏まえて—

本誌・酒井正裕

最終回 雪崩埋没者の掘り出し

掘り出しこそがレスキューの核心—



掘り出しのイメージ（断面図）

登山者が雪崩で完全埋没した場合、雪崩ビーコン（雪崩トラシシーバー」ともいう）での搜索5分、掘り出し10分が救助の時間的な目安です。雪崩ビーコンの性能を踏まえると、単独埋没であれば5分以内に探し出すことは通常では難しいことでは

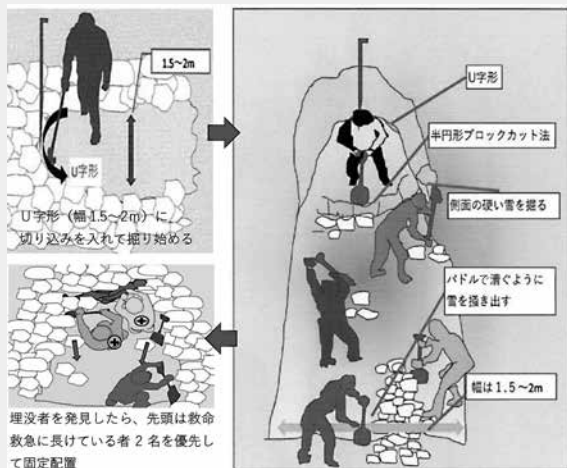
ありません。しかし、掘り出しは、その時々条件や搜索者が慣れているか否かで、時間は大きく変わります。言い換えれば、雪崩埋没者の救助は、効率的な掘り出しこそが核心なのです。その点で、以前の雪崩講習は雪崩ビー

コンの操作そのものに関心が高く、いわば「宝探し」だけで終わり、掘り出しへの関心が低かったことは致命的でした。連載最後の今回は、登山者の掘り出し方法（基本形）について述べますが、講習に携わる私たち自身も経験を積んで、更に検討・改良していく余地が多く残されています。

◎掘り出しの手順

①プロローブヒットしたら、下流側にシャベルの長さ（80cm程度）の間隔で一列に並ぶ。

掘り出しの概要



埋没者を発見したら、先頭は救命救急に長けている者2名を優先して固定配置

- ②先頭はプロローブに沿ってU字形（幅1・5〜2m）に切り込みを入れて掘り始める。
- ③先頭以外の者は、左右に壁を作るイメージで掘り進むとともに、バドルで潰ぐように雪を下の方に掻き出す。
- ④先頭は3〜4分を目途に声をかけて、時計回りのローテーションで交替する（2番目が先頭に移動し、先頭は最後尾に移動する）。
- ⑤埋没者を発見したら、先頭は救命救急に長けている者2名を優先して固定配置し、その2人はシャベルを短くし、フードを被り、肩と肩を合わせて膝をつき掘り進める。埋没者の呼吸確保のため、どの方向に頭部があるかを見極め、頭部と上半身の掘り出しを優先する。なお、このときプロローブは抜いてもよい。
- ⑥掘り出しを行う3・4番目の者は、両側の雪面を広げるとともに、先頭が掘り出した雪を下方に掻き出す。
- ⑦掘り出しを行う5・6番目の者は、さらに下方へ雪を掻き出す。
- ⑧先頭の2人は埋没者の頭部を掘り出し、呼吸空間を確保する。
- ⑨先頭の2人は埋没者の胸の上の雪を取り除く。
- ⑩先頭の2人は埋没者の全身を横穴状に掘り進み、埋没者を横方向に引き出す。

カトマンズとポカラを結ぶハイウェイ上にあるドゥムレの町より、マルシャンディ・コーラ沿いへと分け入るマナン街道には多くの活断層温泉がある。今回は、古くから熱めの湯として有名だったジャガトの湯（旧湯槽）へ浸かりに行ってみることにしよう。

夏場はホテルも飛び交うベシサハールの町を出発したローカルバスは、田園風景の中を抜けて溪谷へと入り、ジャガトで折り返すことになる。それは、この先道幅が狭くなり、ジープしか通れなくなるからである。ジャガトの村に着いたら周りの山の斜面を眺めてほしい。目も眩むような高台の急傾斜に山上集落を形成しており、ネパール人のたゆみない努力の積み重ねを見ることが出来る。そんな山上集落の村人も山を降りて利用しているのが、ジャガトの湯だ。

村はずれからマルシャンディ・コーラの河原へ降り始めた中腹



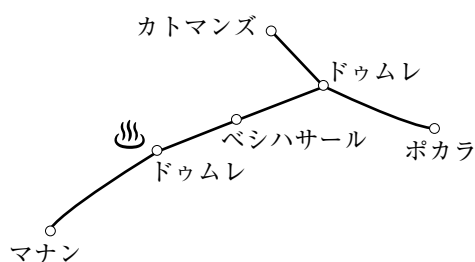
ジャガトの湯（旧湯槽）

にあり、バス停から15分ほどかかるが、新しい湯殿ができてからは湯治客もまばらになり、今はひっそりとしている。しかし、源泉の温度は今も61・3℃を保っており、湯槽で48℃と熱めの湯が健在である。日本の銭湯を彷彿とさせるような湯は、茶褐色でイオンが多く疲れがとれて血行が良くなり神経痛が緩和する

と言って、新しい湯殿へ入らない根強いファンもいるそうだ。私も1989年の冬期ピサンピーク（6091m）隊の帰路に湯治したことがあったが、その頃と変わらぬ懐かしさに心惹かれるのであった。何しろシェ

ルパは熱い湯槽に浸かるのが大嫌いで、湯上がりのビールを賭けたが、彼らは30秒ともたなかつたのである。そんな彼らに、手のひらを組んでお湯鉄砲を食らわすと、湯槽から飛び出して行ったのを昨日のように思い出させてくれた。さあ、私もあの頃に

戻ってもう一度浸かってみよう。年をとった分、我慢強くなっているはずであるが、到底お湯の力に勝つことはできず、熱の逃げない時間がしばらく続いた。一生に一度は浸かってみたい重厚なヒマラヤの湯である。



ネパール² 温泉紀行

石原裕一郎 杉並山の会／東京



アドベンチャー・トラベル

本格的なエコ・登山の実践を —その2—

世界遺産である白神山地や屋久島の山々、国立公園の多くの山岳地域で、排泄物の^{はいせつぶつ}ティクアウトを掲げているのは利尻山などほんの一部である。我が国は未だ掛け声だけ、自然相手に本格的なエコを実践するには、北アルプスやハケ岳周辺は施設が整い過ぎている。

“残すものは足跡だけ”をゴミとトイレに関するライフスタイルのひとつとして、自然への礼儀と思ひ多くの地域で実践してほしいものだ。しかし、自然を傷つけないための厳格な決まりがあるわけではなく、また規則に対するペナルティーもなく、本格派といえるエコ登山は日本、ましてや世界にも稀^{まれ}であろう。

エコ登山のイメージ図

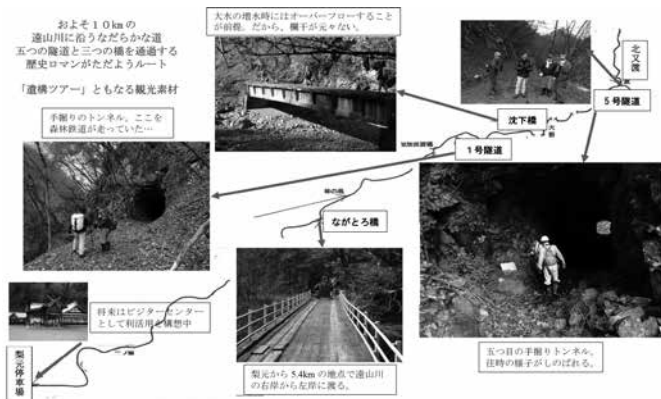


氷 河もなく、世界遺産に押されるような特別な植生や生物もない遠山郷で、一体何をと訝^{いふか}しがられるのが落ちなのだが、少なくとも中緯度温帯の植生の発達した山で、わざわざ厳格にエコ登山を施行したいのである。

日本の山は多彩で、異なる地質で山容も植生も変わる。大陸から分離した日本列島は隆起が進み、火山活動が盛んとなり、多雪強風の気象から高山植物もライチョウも残り、豊かな自然が生まれた。1万数千年前から多大な恩恵を大自然から享受してきた我が民族には、危機感として地球規模の気候大変動やそれに伴う温暖化を理解し難いのであって、環境の厳しい高緯度に暮らす欧米の人々のそれとは雲泥の差がある。

南ア赤石山系最南部には頂上にまで迫る森林や、太古の原風景がある。そこは、人間蘇生の聖域ともいふべき別世界で、精霊の棲^すまう深山である。そこに

登山口までは林業遺産の軌道を歩こう



梨元停車場からテント場の想定地と山頂の関係



核とした文化融合のおもてなし観光で、感動を覚えてもらうことが一番である。時間をかけて、人、食、住、暮らすような旅を売ること、リピーターの獲得を目指す。これは遠山郷の未来ビジョン、言い換えれば日本の将来の姿を占うのである。

何もない良さを価値あるものに変えるのは人智のなせる業、斬新な発想で先行投資要らずの「循環」する域内経済が要である。消費・調達・投資も継続的好環境を産む高齢者社会に馴染む安定指向と思う。遠山郷はここ10年間で3割も人口が減り、山麓に住まう住民は高々1800人ほど、それも高齢者が殆どである。Uターン、Iターンも増えてはきたが、大きな戦力になって、地域の活性化を担うまでのまとまりはない。ただ、若者とバカ者、そして、よそ者は変革には大いに役立つ、時間をかけ話し合いたい。老若一緒に世代間格差を乗り越え、解決力を養うことが早急の課題だろう。問

題は山積み、ガイドやポーターの成り手は?...実行部隊は?...
高 齢者も若者も、笑いながら楽しく生活が営める遠山郷づくり、不可能ではない。そのためには、じっくりと私の考えを理解してもらうことだ。この2カ月、エコ観光登山のプログラムの開発と整備計画立案に7回の会合で40人弱、地域の合意形成と協力関係の構築で16回の会合等で80人強、行政機関との折衝、許認可及び協働で、市長はじめ各行政機関の長、担当者：地元行政機関等7回の会合で30人に会った。地元での説明講演会には約70人が、最後のワークショップまで付き合ってくれた。

格差のある国立公園、でも、発想の持ち方と何を売り物するかでビジネススキームはでき、単価も上がる。「今までやりたくてもできなかったことが、できそうな気がする」という人が何人も出てきた。登山BCのおもてなしにチャンスはある。

こそエコに徹する理由があり、豊かな自然がヒトの排泄物を容易に分解するというのはいみじみなのである。だからこそ、エコ登山は価値ある行動といえる。頂上も見えず、何もない山深さに人は魅かれない？ 思いを馳せるのは深田百名山の達成意識だけ？ 小屋もない登山路には携帯トイレこそ相応しいのだ。この意識改革こそが、聖岳、光

岳周辺の国立公園を蘇らせ、エコのメッカとして志の高い登山者が訪れてくれるものと信じている。

―― 気に数倍もの登山客はいらない。定められたルートに1回で何人と規制するのも、持続可能な開発目標に則す。すでに林業も廃れ、第一次産業も従事者が減り、高齢者社会で、できる改革は他にない。登山を

新規加盟団体の紹介

①会員数 ②代表者 ③加盟

小さな山岳会

山ぼうし (埼玉)

① 3名

② 中島美紀 (会長)

③ 2019年2月

登山歴10年前後の3名で創立した山岳会。初山行は好天に恵まれ、蝶ヶ岳からの展望を満喫した。山行は少人数の利点を活かしまめに会合、全国の登りた山のリート状況・天候等をリサーチ、検討して山を確定。また、登攀にも励んでいる小回り

の利く山岳会だ。

一歩二歩から山歩きへ

さんぽの会 (和歌山)

① 4名

② 中田文子 (代表)

③ 2019年3月

2017年3月、約40年の歴史を紡いできた田辺労山が解散。その後「やっぱり山の仲間が欲しいね」と、その残党(?)と友人で発足させた。ウォーキ

ングから山歩きへ、そして、2泊3泊のアルプス山行を目指して「さんぽの会」と名付けた。時には元田辺労山の会員の力も借り、平均月1回のハイキングを行っている。

四季を通してオールラウンドの山行を安全に楽しむ

東京岳遊会 (東京)

① 12名

② 飯嶋生正 (会長)

③ 2019年3月

四季を通してオールラウンドの山行を安全に楽しむ

昨年、都職山の会が解散し、有志で新たに設立した。月例山行は、昨年4月奥多摩・生藤山にてお花見山行、5月奥多摩養沢周辺にて天ぶらハイキング、9月上信越・白砂山、11月西上州・大岩と碧岩、今年2月富士見パノラマリゾートにてアイスクライミングとスキー等を実施した。

山で何を楽しむか？
楽しいから始める！

Lantan (京都)

① 6名

② 高岩光 (会長)

③ 2019年4月

私たちの会では、山を始める人々をお誘いし、山の楽しみ方や魅力をたくさん伝え、労山のリソース(クライミング系・ハイキング・自然保護・等)にアクセスしてもらい、山を楽しんでもらいたい、山を楽しむプロを育てていきたいと考えています。



韓国岳から見る高千穂の峰 (2019年4月 山ぼうし)



槍ヶ岳、西鎌尾根を行く (2019年8月 さんぽの会)

フフハハ

No. 156

村松 孝一



できるかしら……

体操教室の仲良し3人組で設

膝・腰の痛い平均年齢約70歳

※新規加盟団体の紹介は32ページに続く

はじめまして山登り

山の会クローバー（千葉）

① 5名

②荒井美穂（代表）

③ 2019年6月



京都、愛宕山山頂近くでの廃墟探検 (Lantan)

立。講師兼クロバー代表荒井を中心、毎週、体操教室でストレッチ、筋肉トレーニングをしており、室内から外へ、山へと目標を持ってトレーニングできたと、会を立ち上げた。活動はこれからだが、一歩ずつ進みたいと思う。

の5人。お医者様より歩いて筋肉をつけるのが一番と勧められた。万が一の時のために労山基金に加入した方が良いかなという意見が出て会を立ち上げ、和歌山県連盟に加盟した。月に1回みんなで行きたいところを出し合って山行をしている。心得、

足・腰に優しく
花を追いもとめて山を歩く

ハハコグサ

トレッキングクラブ（和歌山）

①
5
名

② 堺和子・成盛（代表）

③ 2019年9月

マナー、服装などを学びながら、自然の中で、歩くことの喜び、感動、楽しさを体験することが出来る仲間たちの会。これから、天気よし、花よし、景色よし、メンバーよしの山歩きを全員が願っている。

スポーツ のひろば

2020
No.526 4月号

定価 290円
年間購読 3,600円



CONTENTS

筋肉はどうやって動くの？

発掘インタビュー 小日方邦子 (チエアスキー)

スポ研所長
やまけん先生のブログ！

スポトピ 時間栄養学って、知ってますか？
選手宣誓のときに手を挙げるのはなぜ？

発行 = 新日本スポーツ連盟

ホームページ
<http://www.njsf.net>

東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル 402
TEL 03-3986-5401 FAX 03-3986-5403

労山60年

創り出そう 21世紀の登山文化を！

日本勤労者山岳連盟 第34回総会

組織の強化と拡大



新日本スポーツ連盟
石川正三理事長

2020年2月15日～16日、東京都内（ホテルコンチネンタル府中）で39地方連盟から68名の代議員と全国連盟役員など115名が出席し、第34回全国総会を開催した。来賓の日本山岳・スポーツライミング協会の八木原罔明会長、日本ヒマラヤ協会の伊藤満理事長、HAT-Jの神崎忠男会長、新日本スポーツ連盟の石川正三理事長の4方から祝辞を頂戴した。主要な議題として、組織の強化と拡大を目指す活動、重大事故をなくす安全登山教育、山岳自然保護活動、登山文化を発展させる取り組みについて討議を行った。

全国労山の会員数は、前年より7団体・564名の減少で18238名となった。その原因は、①会員の高齢化により会運営が困難になり会を解散する、②40～90名のハイキングクラブの会が労山の理念を共有できずに脱退する、③連盟費の支払いの割にはメリットを感じられず去っていく、④労山山岳事故対策基金よりもっと安いJRO（日本山岳救助機構会員制度）などの山岳保険に魅力を感じて抜けていく者などさまざまだ。

一方で、全国には、会員拡大で頑張っている会・クラブが数多くあり、新たに加盟する会・クラブもあるが、会員の減少に会員・仲間の拡大が追い付いていない。

各地方連盟の代議員から、会員が減少している実情、また、会員拡大や新たに会・クラブを設立して仲間を増やしている経験が報告され、「仲間がいるから、登山ができる」「仲間がいるから、自然保護などのいろんな運動ができる」のではないかと、という発言もあり、労山の仲間増やし運動を前進させる意見・討論も行われた。

組織拡大の方針として、労山の魅力を満載したパンフレットを作成する。また、HPの開設も支援していく。岡山や北海道の会で会員拡大に成果を上げている、未組織の登山者を対象にした市民教室や各地方連盟で開催している技術講習会・山筋ゴーゴー体操などへの支援を強化していくことを決定した。



組織拡大の取り組みを報告
北海道道央・早坂直樹代議員

重大事故をなくす 安全登山教育

安全対策の問題では、昨年の労山内の事故者数は330名と最近10年で最多になった。反面、死亡行方不明者は4名と、ここ10年で一番少なかった。死亡事故は減少したものの、事故件数は減少傾向にはなっていない。

遭難事故の減少を目指すためのものとして、ココヘリ（AUTHENTIC JAPAN株式会社）が運営する会員制搜索ヘリサービス（の普及に努めた結果、



1号議案を全員一致で可決

無事救出された報告があった。静岡の代議員からは、富山の清水岳^{しみずだけ}で、道迷い遭難したが、3日後ココヘリに搜索を要請、ヘリが飛び立って21分後に遭難者2名を発見できて事なきを得たという、ココヘリの威力を実感した例が紹介された。他の代議員からも、更に普及を進めるため、安全対策基金からの充当などで安く手に入るようにする措置などの要

望があった。

また、「山筋ゴーゴー体操」の普及に向けた体制として、これまで女性委員会が遭対部・ハイキング委員会とともに取り組んできたが、今後は新設の委員会として「山筋ゴーゴー体操推進委員会」が設置された。

登山時報の内容の充実とデジタル化

登山時報に期待することは「山岳事故・遭難」を取り上げてほしいということが、読者アンケートの集計結果からわかっている。愛知県の望月代議員から、具体的な掲載予定について質問があった。気象遭難に関する連載を3月号から開始、沢事故の座談会を6・7月号に連載、山岳遭難事例に関する連載を6月号から連載予定であることを登山時報編集長が発表した。

また、時代の要請として登山時報のデジタル化に踏み切る。具体的には、この1年間は紙媒体

と電子登山時報の2本建てとするものである。これに對しての討議も行われた。今野メディア局長は、新たな予算建てはないこと、収支を改善することを目指していること、ある一定数の読者数を確保すること、紙媒体をPDF化したものが電子登山時報なので、内容は全く同じであることを発表した。電子登山時報は最新号よりタイムラグを置いて見られるシステムになっていることも明らかにした。

これで、連盟メールニュース、労山ニュース、登山時報とすべてが電子化されることになる。

山岳自然保護活動

千葉・安彦代議員からは、昨年の台風19号による被害で登山道が激しく崩壊し、倒木など散乱して登山道に入れない状況を紹介、他団体と協力して房総の整備を行ったと語った。同じく台風被害を受けた宮城・岡代議員からは、石巻緑のハイキング

ロードの被害復旧、倒木処理などに全国の労山会員の応援をえて復旧に努めたことなどが発表された。

ROUSANパートナーズ制度の検証

全国連盟は、ROUSANパートナーズ制度の教訓として、多額の支出を伴う制度の発足にあたっては、慎重に審議し十分に議論を尽くすことを確認した。

その他

ボランティア活動と被災者支援制度に関して、茨城の代議員からは、南相馬子どもつばさ支援にこれまでと同様に支援してほしいとの発言があった。浦添理事長は、被災者支援制度の発足にあたり財源は災害の都度、支援カンパを実施していくが、当面の運転資金として一定の財源が必要なので、これまでの義援金を充てたいと回答。また、この制度移行に合わせてこれまで

行ってきた東日本ボランティア活動への支援は打ち切ることになった。

平和と登山に関しては、沖縄の代議員からは、絶滅危惧種や希少種の宝庫である高江の山にオスプレイのヘリパッドが建設されたことなどを挙げて、沖縄に平和はありませんと報告された。

また、長崎の代議員は、今年是被爆75年、体験を語り継ぐ被爆者の多くも90歳を過ぎて、語り継ぐ人がどんどん少なくなっている。紛争が絶えない世界の中で、長崎に住む私たちがここで起きたことを次の世代にどう伝えていくかは私たちの責任であると語った。



沖縄の現状を訴える
沖縄・高江洲昌信代議員



戦後75年 長崎の火を消すな
長崎・西川寛史代議員

議案の採決と

2020年役員体制

第34期全国役員は新たに副会長に高橋友也、副理事長に白井邦徳が選任されたほか、理事長、副理事長4名、事務局長、理事24名の全員が信任された(別表)。この結果、三役6名、広域理事を含め理事は22人(2名の欠員)、監事2人で出発した。

議案の採決結果は次の通り。

1号「第33期下期の活動総括と第34期上期(2020年度)の活動方針」可決(賛成64 反対0 保留0)
2号「第33期の財政活動総括と第34期の財政方針、予算の策定」拍手で承認

第34期全国連盟 正副会長・理事

- ◎会長 佐々木功(東京)
- ◎副会長③ 花折敬司(京都)、高橋友也(杉並勤労者山岳会/東京)、藤元理津子(東京)
- ◎理事長 浦添嘉徳(東京)
- ◎副理事長④ 石川友好(東京)、白井邦徳(溪嶺会/東京)、久保典子(埼玉)、今野善伸(栃木)
- ◎事務局長 川嶋高志(東京)
- ◎理事②④ 赤間弘記(宮城)、浅瀬和人(石川)、阿部哲也(香川)、石川昌(千葉)、今村正一(鹿児島)、上野美知代(東京)、大和田英子(東京)、小池藍(東京)、佐藤和男(あつた勤労者山岳会/愛知)、佐藤久子(埼玉)、澤村秋則(大阪)、三瓶健(神奈川)、田上千俊(東京)、竹本幸造(静岡)、野々脇千沙(神戸中央山の会/兵庫)、早川尚武(神奈川)、三代一宏(松江アルペンクラブ/島根)、武笠真次(わらび山の会/埼玉)、山本尚徳(千葉)、山本裕之(札幌北稜クラブ/道央)、吉永直樹(山岳チーム 風はるか/福岡)、渡邊健治(岩手)

※丸囲みの数字は定数。括弧内は所属連盟。新任者のみ所属会も記載。



栄誉功労賞の受賞挨拶
愛媛・太田正博代議員

3号「『全国連盟規約と部局・専門委員会規定』の改定」可決(賛成62 反対0 保留2)



退任される(左から)久保理事、廣木副理事長、高橋副理事長、挨拶する大澤副理事長、(加納理事)、花村理事

- 1、2日 第34回全国雪崩講習会（長野県
県母池高原）川嶋事務局長、石川
理事が参加。
- 4日 三役会議
- 6日 遭難対策部会
- 同日 組織部会
- 9日 第47回宮城県勤労者山岳連盟定期
総会（宮城県大崎市）久保副理事
長が来賓として出席。
- 10日 自然保護委員会
- 12日 登山時報編集委員会
- 13日 第24回理事会
- 15、16日 第34回全国総会（東京都府中
市ホテルコンチネンタル）
- 16日 沢登り重大事故についての座談会
臼井・今野副理事長、石川・田上
理事が参加。
- 18日 山岳団体自然環境連絡会
- 25日 臨時三役会議
- 同日 労山基金運営委員会

第24回理事会討議事項

- ①第34期上期予算について
ココヘリ労山捜索隊関係費を新設し捜
索隊員の研修等に充てる。安全対策基金
の地方協議会救助隊交流会について名称
と金額を変更する。
- ②第34回総会当日の運営体制について
出席者の確認、総会役員の最終調整を
行った。



上越、一ノ倉尾根から一ノ倉沢三ルンゼ最上部を望む



ヒトココ親機で全国雪崩研修生のいる場所が確認できる



JAPAN WORKERS' ALPINE FEDERATION

専門委員会活動報告

2020 ②

○遭難対策部
病気による死亡

筑波山麓で栃木県の78歳男性が懸命の救命処置にもかかわらず亡くなった。会員の皆さんくれぐれも、持病・血圧などに注意されたい。1月9日から2月6日までに届いた事故一報は17件17人。死亡事故78歳男性、病気（心筋梗塞）。

6人が転倒（無雪期登山が4人、積雪期登山が2人）。4人が転・滑落（無雪期登山が2人、クライミングが2人）。病気（心筋梗塞）死亡1人（無雪期登山）、クライミング中が2人、下山中（積雪期登山）と下降中振られて（クライミング）、山行後（無雪期登山）が各1人、道迷い（積雪期登山）が1人。

右足踵、左足腓骨・脛骨の骨折が4人。骨盤・腰椎・肋骨・頭蓋骨の骨折が1人。腰椎骨折が1人。左手首・指の骨折が2人。足首の損傷、左足腓骨脱臼が3人。右肩・頸椎、頭・頸椎

の損傷が各1人。右肘打撲が1人。左手中指の損傷が1人。死亡、無傷が各1人。

所属連盟は、千葉・兵庫が各3人、神奈川・京都が各2人、栃木・東京・大阪・山口・福岡・長崎・鹿児島が各1人。男女比は、男性8人、女性9人。年齢構成は、20代1人、40代4人、50代2人、60代5人、70代5人。

（臼井邦徳／全国遭難対策部長）

○自然保護委員会

第34回総会 自然保護活動報告

2019年の清掃ハイクは、参加395会・5543名、総量4106kgであった。登山道はゴミが少なく、中止の声もあるが、労山の憲章として継続していきたい。また、11月16日～17日には全国自然保護担当者会議を労山事務所で行い、「山と地球規模の環境保全を考える」をテーマに論議した。二日目は新宿駅付近でリニア中央新幹線の反対活動を行い、60分で30筆の署名を集めた。

地球温暖化で雷鳥が絶滅危惧、

巨大なソーラーパネル・風力発電、

自然災害で登山道崩壊、山のトイ

レ問題と登山を脅かす問題が山積

している。今年は、7月11日～12

日に「全国自然保護セミナー」（長

野県大町市）、11月14日～15日に

「全国自然保護集会」（山梨県韮崎

市）を開催予定（調整中）、多数

の参加をお願いします。

（山本尚徳／全国自然保護委員）

○ハイキング委員会

登山計画書の思わぬ効用

今年の新年山行予定の日は、傘マークの雨予報で、翌日に変更になった。参加した女性会員からこんな報告を受けた。

日が変更になり、これで私も参加できると、ウキウキで武蔵浦和から電車に乗った。新秋津の改札口で会員のTさんに会い、喜んだのもつかの間、財布が無い。改札が出られない。ラインで緊急事態を報告。今日は財布の搜索で一日つぶれるのか……



HP開設支援講習会の様子

申し訳ないやら、悲しいやら。

駅員に遺失物を問い合わせてもらうと、西国分寺駅に届いているとのこと。「取りに行ってください」と言われる。今、証明できるのは、登山計画書だけだ。「どうしても山に登りたい」。そんな気持ちを察したのか、駅員さんが了解してくれた。取りに行くと、カードや保険証は無事だった。

思わぬところで、登山計画書が役立った。

(伊藤正勝／全国ハイキング委員)

○労山基金運営委員会

昨年度の総括報告と審査について

令和2年最初の運営委員会となる1月28日、第34回総会を2月15日・16日を迎えるにあたって第33期下期総括について委員長から報告があった。

なかでも加入団体による交付申請について、ほとんど問題なく認定できるものであったが、交付の特典申請58件のうち承認

されたものは41件(前年28件)と、17件は定められた要件を満たさず通常交付した(時間制限を超えていたもの10件、一般道以外を含むもの5件、その他の理由2件)。一方、病気を伴う事故について、問診票を基に判断したものが2件あったが、調査内容をふまえて通常交付とした。

運営委員会で交付の特典申請の審査には時間を要することが多い。20件以上もの審査のあとに、事務局から「問い合わせや嘆願書等」の打ち合わせとなる。

運営委員になって4年目、会員のすみずみまで労山基金の内容が浸透するよう努めていきたい。

(武笠真次／労山基金運営委員)

○組織部

ホームページ開設を支援

会員を増やし、会活動が活発になっている会・クラブでは、ホームページ(HP)を開設しSNSを有効に活用している。

組織部では、これまで地方連盟単位で、HP開設支援講習会を開催してきた。

これまで宮城、和歌山、香川、大阪、岐阜で、40団体、74人参加で開催。HP開設会・クラブは14になった。

HPを開設した会では、HP訪問者があり、会への問い合わせもあり、HPによる入会者もあるので、開設することで効果があると回答している。地方連盟からは、更新や魅力的なHPの作り方などについての知りたいという要望もある。

総会では、HPの開設やSNS活用のための支援を引き続き行っていくことを決定した。そのために、地方連盟に、講師になりうる会員の協力も得ながら、必要に応じて講師を派遣してサポート体制を強化することになっている。

(阿部哲也／全国組織部員)

記念誌

『恵那山 2019年創立50周年記念誌』

中津川勤労者山岳会／岐阜



114P・A4判

オールカラー、造りもしっかりしている。
会長巻頭言は、50年を経た今、求められるのは改めて「山岳会の社会的使命であり存在意義であり同時に私たちの会の創立の原点」として「安全な登山を実践し広める」ことであり、「一緒に山に登り、喜びや時には苦しみも共に分かち合える事は素晴らしい事であり普遍的なこと」と。この間、厳しい山行に取り組みながら1件も重大事故がな

いのは決して偶然ではない、今まで会に携わり担ってきた300人近い仲間とともに誇れること。
「50年の主な登山活動」、50周年記念の台湾・玉山登山、標高1000m以上 中津川市の山27座登山の報告、エッセー20編など。1990年以降30年間の会組織と山行活動の表も。

『あゆみ 創立50周年記念誌』

長岡勤労者山岳会／新潟



110P・B5判。付・別冊「歴代の会山行」(26P・B5判)

しっかりと造りの記念誌。最初の60ページ余りは会長挨拶と先輩会員たちのお祝い寄稿。地元市スポーツ振興課長からも。先輩会員・元会員の思い出寄稿はそれぞれ山を始めた頃を回顧、

歴史を感じさせる。

続いて座談会と50周年記念山行3本の報告・感想。会員数推移のグラフも掲載。あとの40ページ余りは思い出の山行のカラー写真。

「会員の高齢化で、労山が『老山』になりつつある：今後は若手の会員獲得に：」は全国の会共通の悩み・課題。「あとかき」で継続的記録の必要性、写真等保管の重要性を指摘。

別冊は創立以来の会山行一覧で、索引的価値大。

『山と私 —45周年記念号—』

わかやまハイキングクラブ／和歌山

年報を兼ねた創立45周年記念誌。口絵の他、本文は45周年記念と自由投稿・例会山行＆行事記録等を併載。

記念山行は34名参加で蒜山高原へ。宿での記念イベントで、スライドショー、ゲームや歌で



2019年・38号
125P・B5判

盛り上がり、ベテラン会員6名のパネルトークには感銘を受けた。記念山行・上蒜山の感想が、文章に加えた皆さんの俳句で構成され興味深い(俳句ing!!)。
山行報告は、韓国済州島漢拏山、薬師沢右股沢登り、九重山、他。安全登山へスマホやココヘリ利用、膝痛への対処、なども年間の会活動が山行・行事とも全て記録され、一覧表は索引に。資料的価値も高い。

『斑妙黒戸飯 結成50周年記念誌』

まみくとい山の会／長野

しっかりと造りの記念誌で、

「まみくとい」は地元「北信五岳」(斑尾、妙高、黒姫、戸隠、飯縄)の頭文字。巻頭の会長挨拶は、こんな時代だからこそ登山趣意書を指針に60周年を目指そうと呼びかける。

創立会員・元会員の言葉に続き、3年前から取り組んだ50周年記念登山(①ネパールヒマラヤ、②屋久島宮之浦岳、③地元の関田山脈信越トレール踏破、④県東西南北端ピーク踏破)の報告、38人の「心に残った思い出の山」。

「歴代役員名簿」「清掃ハイキングのあゆみ」も資料性が高い。



108P・A4判

『私たちの山旅』

熊谷トレッキング同人/埼玉

インド・マナリ「風来坊山荘」に縁のある同人の年報。しっかりと造りだ。近年は当初のインド・ヒマラヤから世界に目を向け、今号はマレーシア・キナバル山とハワイのトレッキングが巻頭を飾る。他に70本を超える国内山行、秋の同人合宿の報告「上州路に遊ぶ」など。



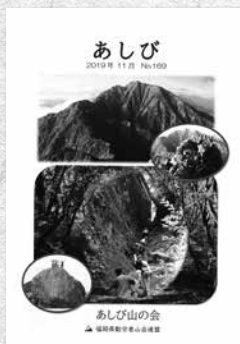
124P・B5判

『あしび』

あしび山の会/福岡

目次は48本の山行一覧を兼ね、本文は地元九州・中国・四国を中心に、唐松・五竜岳、南ア聖岳・光岳、北海道・日高 幌尻岳

などの「山行報告書」と感想。海外登山報告集会、安全登山楽習会、救命・救急講習会、クライミング教室等のイベント報告。その他、会員が自由な視点で執筆する文章も充実。



No.169 (2019年11月) 74P・A4判

『此群』

みまさか山の会/岡山



No.49 (2019年10月号) 68P・A4判

『山座』

山座会/東京

を計画して楽しんでいる様子が伝わる。他に随想、新入会員自己紹介。巻末には9ページにわたる「山行実績表」で、200本を超える山行を一覧。



No.88 (2019年) 60P・A4判

口絵に続き、八幡平、北アルプス、白山、九重、ネパールトレッキングと、全国やヒマラヤ方面にまで足を伸ばした1年間の写真入り山行記録14本は、それぞれコンパクトにまとまってレイアウトも読み易く、会員自ら山

2018年の年報。様々なジャンルの山行報告16本がカラー写真をちりばめて日付順に。GW木曽駒ヶ岳、沖繩の山、神津島・天上山ハイキング、ウルシガ谷沢左俣初級沢登り講習会、穂高連峰縦走と大キレット縦走、他。8ページにわたる御神楽沢奥壁(広谷川御神楽沢本谷ルンゼ)登攀は貴重な記録。「シャモニーの日本人村」も面白い。巻末7ページは年間411本の山行一覧表。

(本誌・鈴木幹雄)

新規加盟団体の紹介



三倉岳

当クラブは、広島県連第1回初級登山学校卒業生が、安心・安全登山と仲間づくり、健康づくりを目指して2019年9月に結成した。会員は女性7人男性5人で、平均年齢は57歳である。20年は、日帰り山行のほか、沢や雪、大山、南アルプスなど多彩な山行を計画している。

初級登山学校卒業生で結成
ひろしま令峰クラブ(広島)
① 12名
② 橋本美智子(代表)
③ 2019年9月



私たち、teamリシエス山岳部は自然療法サロンのお客様とご家族から構成され、子供を含む約30名の山岳部で、下は3歳の子供から40代前後の女性が主な会員となり、約半数が小学生以下の子とも達という珍しい山岳部だ。清掃登山は年に数回積極的に行っている。

自然に還る 自然と共に生きる
teamリシエス山岳部(福岡)
① 29名
② 松浦一美(会長)
③ 2019年10月

FROM EDITOR

プラスチックフリーの中でラップを使わない代わりにということで、蜜蝋ラップを作ってみました。木綿のきれを用意して、クッキングシートの上に蜜蝋チップを乗せ、さらにクッキングシートを乗せてアイロンをかける。結構めんどくさい。便利になれると新しいことに挑戦するのは大変。特に年齢を重ねると。(本多)人は見かけによらないとはいが、山も見かけによらない。先日歩いた静岡県東南部の沼津アルプス。大平山～大嵐山間。破線コースとはいえ、急な下り、岩場に梯子、まるで北アルプスの低山版。こんなに苦労したハイキングはかつてない。(田上)

あったかい冬。全国的に雪がない。長野県では閉鎖されたスキー場もある。私たちは「雪かき」することなく「楽」できるが、雪の恩恵で暮らしている人には死活問題だ。新型コロナと合わせ「政治の力」が試されている。(塩田)

吹雪や積雪があったり半袖で歩ける日が続いたり、と目まぐるしい変化の続く愛宕山をポチポチ登っているが、女性やお年寄りの方々まで皆さんに追い越されている。つい5ヶ月ほど前には誰一人追い抜かれることなく登っていたのに！快気・復帰への道のりは遠い。(小倉)猛威を振るう新型コロナウィルスが、終息どころか世界に拡散中だ。人混みを避け、咳エチケットや手洗いが感染予防に有効、基礎疾患のある人を除けば致死率は低いと言うが、引き合いに出された米国のインフルエンザによる死者数には愕然。(鈴木)「COVID-19」に続き中国に新たな危機が襲う。国連食料農業機関によれば、3,600億匹のバッタが中東経路で新疆ウイグル自治区を襲う可能性があるとの警告を発した。ケニアで大量発生したバッタにより70年に一度の深刻な食糧難に見舞われている。小さなウィルスとバッタの攻撃！(今野)

本誌上で案内を掲載していたが、第54回六甲山縦走大会(3月8日)と第6回吉備路の山山縦走大会(3月22日)は、新型コロナウィルス感染拡大防止を考慮して中止となった。

2020年2月号35ページ「地図読み迷人」で誤りがありましたので訂正します。

1段10行目 誤)北北東 正)南南西
1段13行目 誤)北から北東 正)南から南西
2段4行目 誤)北西 正)南東
2段9行目 誤)北西～北 正)南東～南
4段5行目 誤)北 正)南
4段8行目 誤)北西 正)南東

登山時報

©禁無断転載

4月号 No.542 2020年3月15日発行

編集長 今野善伸
副編集長 橋口晴彦
編集 酒井正裕、田上千俊、本多麗子、水野奈保美、渡辺明(進行)
校正 小倉迪夫、塩田善次郎、鈴木幹雄、三浦偉俊
DTP・デザイン 来住真太

発行人 浦添嘉徳
編集人 今野善伸
発行 日本勤労者山岳連盟
〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24
TEL 03-3260-6331 メール jwaf@jwaf.jp
印刷 株式会社 ウイング・コア



Yoshie Akama



赤間淑江さん

1946年12月29日生まれ。1999年に宇都宮ハイキングクラブ入会。夫、息子2人。長男家族がスーブの冷めな位置にいますので、夕飯は夫婦で毎日呼ばれる。2人の孫と総勢6人でにぎやかに食卓を囲む。「赤間農園」と名付けた敷地には、季節ごとの野菜、苺等々の果物が収穫でき、農作業を楽しんでいる。春は山菜採り、秋はキノコ狩りにも行く。山仲間からは「漬物名人で、ふるまい上手」と評判だ。

好奇心、向学心、行動力の塊のような人 大型の会を束ねる女性会長

栃木県勤労者山岳連盟に加盟する宇都宮ハイキングクラブ（UHC）は、約230名を有する大型ハイキングクラブだ。会創立40周年に向け、創立記念誌の作成、イベントの開催準備で大忙しだ。女性会長として、この重大な任務をこなしている赤間さんに、会運営の秘訣など聞いてみた。

高校時代からハイキングを楽しんでいた赤間さん。40代後半の頃に友人と日光の女峰山に登り、その時に頂上で、UHCの方に声をかけられ、本格的に登山をしたと入会したそう。入会すると同時に山行管理部に誘われて活動。山行管理部の実績が認められて山行管理部の部長に。そして、2年前に会長に就任した。

230名もの会員を擁する会運営は大変でしょうね、と聞く

と「山行管理を長く続けたことが、会運営に、大変役立っている」という。山行管理は会員一人ひとりの顔、力量、山の趣向がわかることが必要だ。目的の山のグレードやルートをチェックする山行管理部長としての活動は、自分の山行の経験、実践が生かされたという。

月18回、年間約200回もの定例山行には、多くのリーダーも必要。育成のため、定例山行に参加する100人以上にサブリーダー、チームリーダーを積極的に経験するようにしている。それは、連れて行ってもらおう山行から脱皮し、自分が行きたい山を選んで、積極的に山に行くように促すためでもある。

また、山行管理部には「調査山行」という活動があり、すでに登った山でもルートが複数あることに着目し、新しいルート

を探し、開拓している。そして、新しく発見したルートを会員に知らせて、新たな会山行として提供している。地図を片手に、新ルートを探す、この活動が特に好きで、わくわくするという。

「労山の会の組織があったから、山仲間の活動経験があったからこそ、私が会長としての実践もできる。これからも安全登山につなげる組織づくりをしていきたい。仲間とともに山に登りたい」と抱負を語ってくれた。

2017年に「第8回全国女性交流集会」へ参加した赤間さん。仲間の活動報告を聞いて感動し、参加した栃木県連盟の仲間とともに、昨年、県連盟に女性委員会を立ち上げた。その活動経過を昨年、「第9回全国女性交流集会in和歌山」で地方連盟代表として発表した。

（久保典子／全国連盟副理事長）

使いこなす
地図アプリ

地図読み 迷人

監修・村越眞
宮内佐季子
小泉成行

Lesson 130

ナヴィゲーションスキル検定 ブロンズレベル

筆者らが所属する公益社団法人日本オリエンテーリング協会（JOA）ではナヴィゲーション・インストラクター（NI）資格とナヴィゲーションスキル（NS）検定制度を設立し、一昨年から運用を開始している。

長年オリエンテーリング競技の強化および普及活動で培ったナヴィゲーション指導のノウハウを基に、道迷いを防ぐNSをスタンダード化し、地図読みやナヴィゲーションの楽しさを多くの人に伝え、また山岳遭難の40%を占める道迷いを少しでも減らして安全なアウトドア活動に貢献することを目標に、筆者

らも制度の立ち上げや指導者養成に関わっている。

具体的には表1のようにナヴィゲーションレベルを3つに分け、それぞれに対応したスキルを学べるようスタンダードを策定、ナヴィゲーションスポーツ初心者だけでなく登山やトレイルランニング、釣りやキャンプなど様々なアウトドア愛好家が各レベルにあつた内容を実際にかつ段階的に学べる講習を実施し、また、検定を受けることで本当にスキルが身についているのかどうかチェックできる仕組みである。なおスタンダードの策定にあたってはオリエン

テーリング界だけではなく、山岳界や教育界、文科省等から有識者を集めて検討を重ね、幅広いフィールドに対応できる内容に仕上げている。

これらの講習・検定は、十分なNSを持ち、指導計画や指導方法を体系的に学んだNIによつて実施される。NIが各地で講習会を開き、あるいはNIが所属する山岳会やチームで指導することで、各地にNSを身につけた人材を広げていくという取り組みである。

ちなみにNIを育成するNI養成講座はこれまで3回開催しており、おかげさまで各回とも定員いっぱい参加があり、登山やトレイルランニングのグループリーダーだけでなく登山ガイドやア

表1 ナヴィゲーションのレベル分け

レベル分け	ブロンズ	シルバー	ゴールド
対応できるルートの特徴	ルート自体は明瞭で選ぶべき道はいずれもほぼはっきりしており、途中不安になることはあっても、進路を選ぶにあたって迷うことは基本的にはない。	道の等級の差がないことに加え、分岐点の現在地把握が難しいため、道の選択に迷うことがある。また、道自体を辿ることが時に難しい場所がある。	地形図に道が描かれていない、あるいは地図に描かれた道が間違っている箇所もある。
必要なナヴィゲーションスキル	◎周囲にある大きな地形の特徴（尾根・谷）が分かる ◎大まかな方向を使って進路を確認できる ◎人工的な特徴物やはっきりした地形上の特徴を持つ分岐で現在地把握できる ◎以上のナヴィゲーションを地図で予めプランできる	ブロンズに加えて、 ◎地形や道の方向を確かめられる ◎大きな地形の特徴を利用して現在地把握できる ◎ルートを間違えたことに気づける ◎以上のナヴィゲーションを地図で予めプランできる	シルバーに加えて、 ◎大きな地形の特徴がない場所でも現在地把握できる ◎細かな地形の特徴やコンパスワークをルートファインディングに活用できる ◎ルートを間違えた場合に総合的な対応ができる ◎以上のナヴィゲーションを地図で予めプランできる
実践例	道の形や建物などの人工的な特徴物が地図と現地で分かり、それにより現在地を把握する。 大きな地形の位置や簡単な方位確認で、ルートを維持する。	コンパスを使って道や地形の正確な方向を確認する。地形の特徴やその方向を利用して現在地把握する。ルートを外れた場合を想定してルートプランする。	道のない場所でもナヴィゲーションできる。 地図に現れない小さな地形も把握できる。 移動履歴や複数の可能性を考慮してナビゲーションを修正する。

ウトドアショップ店員、ワンゲル部監督など様々なバックグラウンドを持つ方に資格を取得していただき、各地でNIによるNS講習会も開かれ始めている。今回のNI養成講座は、少し先の話だが、2021年2月の開催を計画している。詳細は夏以降にJOAのウェブサイトに案内があるが、読者の中には指導的立場の方も多くいると思うので宣伝も兼ねて紹介していきたい。

さて、前置きが長くなったが、これから3回はナヴィゲーションスキル検定の問題を紹介しながら読者の皆さんにも少し腕試ししてもらいたい。初回はブロンズレベル。ブロンズレベルは山のグレーディングで言えば難易度B程度の山道を想定しており、1人でルートを定めて正しく進むことはできないまでも、できる人の後ろをついていきながら今どきのあたりに来たのか、どっちに進んでいるのかを確認できるレベルを想定している。なおブロンズレベルには検定はなく、

該当の講習を受講すればレベル認定を受けることができる。まさに入門編のような内容である。

【問題】

次の文章に合致する場所は図中のどこか？なお、地図に描かれた道の上にいるものとする。

「尾根上の道を進んでいる。三角点を過ぎ、概ね南東方向に進

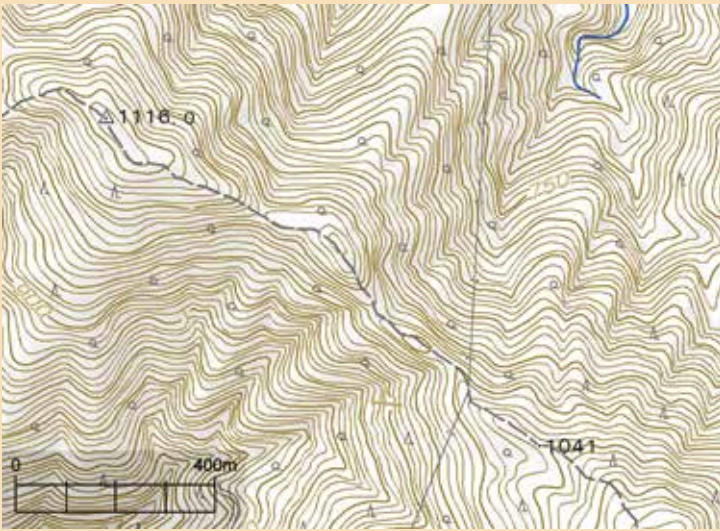
み、何度目かの登り返しに差し掛かった。その場所から東の方向を見ると、200mくらい先に送電線が走っているのが見えた」

【答え】

地図には徒歩道の記号が描かれており、この道は尾根線に沿って進んでいる。三角点の位置と方向の情報から紫線の区間を矢印方向に進んでいると予測できる。その中で登り返しとなりうる場所、すなわちピークとピークの間にある鞍部は緑で囲った位置にある（慣れている人ならば水色の位置もいわゆる隠れ鞍部になっていると予測できるかもしれない）。いずれにしてもそれぞれの位置から東に200mくらいの位置に送電線が見えるのはXのみである。

地図記号の意味や大きな地形の読み取り、大まかな距離や方位の把握ができれば答えを導くことは難しくない。反対にそれらの知識がないと何を言っているのかさっぱり分からないだろう。ブロンズレベルでは今後ステップアップしていくために必要な知識を中心にしつかり学び、講習では屋外でコンパスを使って方位を確認したり地形を読む練習をする。

※NIやNS検定についての詳細：<http://www.orienteeing.org.jp/>



国土地理院電子地形図 25000 より作成

Xのみである。



国土地理院電子地形図 25000 より作成

ジャンダルム基部をまく

会員数：43名（40～80代）

会費：月700円
入会金1000円

創立：1979年

例会：専門部会（第2火曜日）
全体集会（第4水曜日）
運営委員会（不定期）



登山をつなぐ
ネットワーク
山の仲間を結ぶ
会・クラブ紹介

18

オレンジハイキングクラブ

長崎県勤労者山岳連盟

高齢化に対応した山行活動と組織運営で

安全第一で生涯登山を

40年前の1979年長崎県諫早市の小さなミカン畑に8輪のオレンジの花が開いた。8人の若者による「オレンジハイキングクラブ」の誕生である。

「ハイキングからヒマラヤまで」のスローガンのもと、優れた登山技術を吸収し「一流の会」を目指し意気込みに燃えた。その中から、チョモランマ登頂など高所・高峰登山者を輩出した。

しかし、高齢化とともに山行の在り方も変わる必要があり、誰でも受け入れ、「生涯登山」を奨めるようになった。会員であった佐原満子さんは93歳まで登山し、94歳で大往生した。正に「生涯登山」を身をもって示してくれた。

山行という実践面と、クラブの

屋台骨を維持する組織面の両輪が、高齢化に合わせてうまく回るように変化してきたため、会員はほとんど40年前後で変化はないけれど、山行の参加者は増加している。それを継続していくために、次のようなことを長年継続している。

登山力を高めるための
3つの取り組み

登山力とは、体力・技術・知識・経験の総合力と考える。当会は講座や実地で基礎を指導し、その後は会員各自の努力で伸びていくことを期待している。

体力や持続力、技術を高めるために、当会では次のことが継続されている。

（1）日々のトレーニング：自らの体力に合わせた負荷をかけ、近くの低山を毎日登ることにし、無理なく脚力と持続力を鍛えている。既に14年継続しており、参加者は確実に体力を維持している。

（2）水曜登山：週1回、近くの山を中心に山行を行っている。これは約4年継続しているが、参加者は確実に登山力をつけている。

（3）コンパニオンレスキュー：



TV取材を受ける佐原さん。94歳で亡くなる1年前まで山歩きを楽しんだ

カウンターラッペル



後立山縦走

事故時、車やヘリの来るところまで、出来るだけ早く、自分たちの手で救助して安全に搬送できるよう、ロープワークや懸垂下降、搬送技術の訓練を行っている。これも10年間、毎月行っている。

ホームページで積極的に情報発信

地域の登山愛好者を広めるために、会報「おれんじニュース」とホームページ（HP）を見やすい内容で公開している。

（1）おれんじニュース

①9人の編集委員で共同作業。記事や写真はタイムリーに編集委員会に集まるので、編集委員は各自担当分のアレンジをするだけ。山行ごとに感想担当者を決める必要なし。文章を少なく、写真を多用して読みやすく、かつ内容は伝わるよう工夫している。

（2）おれんじHP

①2009年7月より開始した（スマホでも検索可能）。出来るだけ簡単で見やすく、クラブのイメージが膨らむよう構成している。

②内容（山行写真、おれんじニュース、山行予定、山行報告）のアップは、専従1名で行っている。

当会は会員獲得のために特別の企画は行っていない。この10年間、ホームページからの問い合わせ約30人のうち入会25人で、退会5人だった。特に、近年の問い合わせ・入会のほとんどがホームページ経由であり、その有効性が証明されている。今後オレンジの広報活動はホームページとしたい。

4つの専門部を中心とした山行活動

現在、当会には事務局と4つの専門部があり、その役割は以下の内容としている。

事務局：クラブ全体の取りま

とめ（庶務、会計、おれんじニュースの発行、月例会議の企画運営など）。山行部：近隣の山、九州の山を主とした山行の企画と実行。技術研修部：登山技術の向上（セルフレスキュー、岩登り、沢登り、雪山訓練など）、近隣の山から日本アルプスなどの企画と実行。自然保護部：誰でも参加できる難易度の低い山行を対象とした企画と実行（里山や近隣の史跡巡りなど）。ひまわり山行部：元々は余暇のある人達のため里山歩きとして発足した部で、現在は高齢化に対応した企画をしている。

これらを、クラブ員が出来るだけ自立して行えるよう、次の2点について実行している。

（1）各部の山行計画の具体化は、各部内の各員持ち回りで行う。

（2）計画書作成は地図・本・ネット・下見等を基に進め、最終的には部の責任において承認する。これにより、自立が促進されると同時に、責任が一人に押し付けられないように配慮している。

花と紅葉が素晴らしい隠れた名山
小粒ながらもピリッとした
スリルのある山

やまなみ／群馬

島田恭司



西峰からの桧沢岳（本峰）山頂と西斜面の「ひとつばな（アカヤシオツツジ）」

南牧村にある道の駅「オアシス南牧」を通過し、村のほぼ中央にある桧沢大橋を上野村方面に渡り、左（北東）に見えてくる岩山が桧沢岳である。大倉集落で「湯の沢トンネル」には向かわず、旧道の「塩の沢峠」方向に入る。車の場合は大森橋を渡った山側に数台が停められる。この先の登山口にも3台くらい停められるが、ここは住民の方々の許可を得たほうが良い。

登山道は登山口駐車場を北にコンクリ道を進む。3分くらいで放棄された最上部民家の前を通過し西に向かい、すぐに北の杉林に入る。ジグザグを上へ、西に進むと広葉樹林にかわり、本格的な登山道となる。道は分かりやすいが、途中トラバースする所にはトラロープがあり、左側が急斜面なので気を付けて進むこと。尾根の安定した所や「龍徳不倖天」石碑(柱)は西峰好展望台で、ここで休憩するのが良い。「龍徳不倖天」から5分ほど進むと岩場のコルに出る。

まずは西峰へ行ってみよう。フィックスロープがあるが氣を付けて登ろう。西峰山頂は広くて大變展望の良い所で、浅間山をはじめ西上州の山々が一望のもとである。ここからの桧沢岳山頂西斜面は、「ひとつばな」が咲く花の季節に登れば、より感激が増すことであろう。山頂へは一旦コルに居る。コルから山頂への岩場は大變危険で、過去に事故も起きているので、細心の注意が必要である。ロープを使い、ゆっくり登ろう。

り、廻り込んだ所に神社がある。神社前を西に進み、左にゆっくり慎重に降り、ほんの少し登った岩場から振り返る山頂は見応えある景色である。すぐに尾根道から岩場下の下降路となり、ジグザグに下ると沢を渡渉する。渡った所は休憩に最適地で、短くも満足のいく山行を振り返るのがお勧めだ。すぐ前にある林道を下れば大森橋に着く。



- (時)大森橋 > 15 分 > 根草登山口 > 60 分 > コル > 5 分 > 西峰
 > 5 分 > コル > 10 分 > 桧沢岳山頂 > 15 分 > 桧沢岳神社
 > 50 分 > 沢 > 15 分 > 大森橋
 (交)車を利用しないかなり不便である。①自家用車：道の駅
 「オアシス南牧」から大森橋まで約 15 分。②自家用車以外：
 下仁田からタクシーで約 30 分。
 (温)南牧村には温泉はなく、上野村に「やまびこ荘」、下仁田
 町に「荒船の湯」がある。
 (問)南牧村役場 0274-87-2011
 (地)神ヶ原・十石峠
 (時)参考タイム (交)交通 (温)温泉 (問)問い合わせ (地)地形図

vol.87

筑井孝子の 絵を 描く

ちあこ

うま

Takako



「明暗」は隣で可まる

「春の妙義山」昼間の様子（右）。夕方は日が沈み、山が暗くなります。同じ作品で色だけ変えました。



ものの明るさは、その隣のもので決まります。日は「光」の調節をして、暗いところでも明るく見えます。明るいところでは日影になると真っ暗に見えますが、「光の中の影」と「影の中の光」が理解できると、より素晴らしい作品になります。

あらかると

白中黒峰

石井光造



四月の残雪の山という、底雪崩で白い着物を脱いで、黒々とした肌を見せた峰が印象的であった。底雪崩は早ければ三月にも起こるが、私の山々では四月が多かった気がする。

こんな山で最初に心に残ったのは、会津の奥に位置する城郭朝日山であった。檜枝岐の手前、小立岩から雪尾根に取り付き、山毛櫓沢山・小手沢山の雪底を眺めて恵羅窪山へ、真っ白な稜線の先に黒々とした峰が立ち上がった。わずかに千五百mに満たない山の姿とは思えなかった（右写真）。

もう一つは、四月初めに行った時には、まさに底雪崩のシーズン、諦めて下旬に登りに行った。小出の奥の三ツ又までだったタクシーも林道深く入れた。雪崩のデブリを越えて登り切った明神山は池も深い雪の下で白い尾根が続いていた。その先に黒い富士山型の峰がおいでおいでをしているように立っていた（左写真）。まさか九七五mの大倉山とは。下山して泊まった中子沢温泉がなく、なつたのは残念至極である。

春は桜だ！



今年2月11日に静岡で撮影した河津桜です。奥の山は河津城山（181m）。河津駅から歩いて30～40分で登頂可能な上、山頂手前の広場で花見ができるし、見下ろすと河津川沿いのピンク色の帯もきれい。来年の2月中～下旬に行ってみて。

薄手の手袋ほど一年を通じて重宝するものはないのではないか、と私は思っています。冬期は、低山ハイクから厳し

い高山ではインナー用として、真夏においても、アルプス級の山で、ちよいと寒い時なんかにはありがたいものですし、春の残雪の山や秋口なんかも必ず持っています。そう、女性では日焼け防止なんて利用もあるし。また、ストック使用時にマメ予防とかグリップ力を高めるために使っている方々もおられることでしょう。

山道具屋さんでは乾きが早く、そこそ暖かいすぐれ物は当然あります。が、私はたまたま手袋を持ってくるのを忘れてしまった寒い時期の低山ハイク

で「グローブなきや、こりゃ寒いよなあ」という時に「そうだコンビニでなんか売ってたよな！」と入った店で、安くてグリップ力が高い手袋を購入できちゃったんです。それ以来、時々コンビニに入っては手袋を物色するようになりました。

今シーズンは気に入った物に当たらなかつたものの、前々シーズンには先に述べたグリップ力のある物を：前シーズンには、そこそこのグリップ力（滑り止め）がある上にタッチパネル対応の物をゲットして、たいの山行に持ち歩いているばかりか、山ではない寒い時期の普通のお出かけにもほとんど携行していたんです。

安さ爆発！ 更に驚きは100円ショップにも各種グローブがあり、山で使えそうなものもあるんですね。ただし、安物買いの何とかな：ご注意ください。チェックポイントは以下の通りです。

①必ず試着をすること！ 自分の手にフィットするかどうか、また縫製はきちんとしているか確認する。

②素材を見ること！ コットン

オススメ 山道具

No.219

山の基礎装備
薄手の手袋

笹原芳樹

元カモシカスポーツ本店店長

山道具屋さんのすぐれもの
「エクストリミティーズ・シロコグロブ」



お高めだが、素晴らしいフィット感にグリップ力、タッチパネル対応のストレッチゴア製だ。¥6,900「うーん、ほしいがムリ！」

コンビニ入手のグローブ



左が先々シーズン、右が先シーズンに購入したお気に入りのグローブ。安いからどんどん使っても気にならない。

100円ショップの手袋コーナー



コットン製は普通の山には不向きだが、丸く切り抜いた手袋は、ポリエステルやナイロン製なので山でも使えそう。なんで100円なんかで売れるんだろう。暇な時に見るだけで楽しいかもね。



大事なもの、 揃っています。

「登山用品専門店」だからこそ
出来る品揃えと接客サービスで
安全快適な山行をサポート。



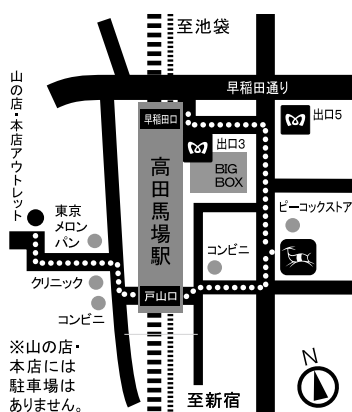
美味しいコーヒーと選りすぐりの登山用品。
山が大好きなスタッフ。カモシカのお約束。

カモシカ 通販

オンラインショップ24hrオープン!/
こだわりアイテムと充実の品ぞろえをネットから!

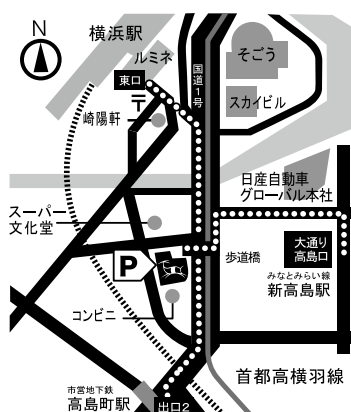
山の店・本 店

JR高田馬場駅から徒歩3分



山の店・横浜店

JR横浜駅東口から徒歩5分



山の店・松本店

松本ICから約6km



登山用品専門店

カモシカスポーツ

OPEN 11:00 (松本店のみ 10:30) CLOSE 20:00 (月～金) / 19:00 (土・日・祝)

- 山の店・本 店 TEL 03-3232-1121 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-28-6・2F
- 山の店・横浜店 TEL 045-440-0711 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-6-32横浜東口・ウィスパートビル1F
- 山の店・松本店 TEL 0263-48-2424 〒390-1242 長野県松本市和田4478-1

アルパインツアーで行く『世界の山旅』

プレミアムエコノミークラスでベストシーズンのピレネーへ

JALプレミアムエコノミークラスで行く 花の宝庫ピレネー山脈ゆったりハイキング 11日間

発着地 **東京**
出発日 **6/9(火)**
旅行代金 **846,000円**

岩壁がそびえるガバルニー大園谷には
いくつもの滝が流れ落ちる▶



モンブラン山群を囲むフランス・イタリア・スイス3カ国をめぐるトレッキング

ツール・ド・モンブラン トレッキング 9日間

発着地 **東京・大阪**
出発日 **7/4(土)・7/25(土)**
旅行代金 **512,000円～522,000円**

プレ・デ・バル氷河を正面に
イタリア・スイス国境のフェレのホルへ▶



スイスインターナショナルエアラインズ直行便で春の魅力あふれるスイスへ

一面に花々が咲き誇るスイス・アルプス フラワー・ハイキング 8日間

発着地 **東京**
出発日 **5/16(土)・5/23(土)**
旅行代金 **420,000円**

お花畑と白く輝くマッターホルン▶



世界遺産の氷河特急に乗車、絶景の山上ホテル宿泊など、盛りだくさんの内容です

プレミアムホテルに泊まる スイス・アルプス・ハイキング 12日間

発着地 **東京**
出発日 **6/21日・6/28日・7/5日・7/12日・8/23日**
旅行代金 **760,000円～860,000円**

山上のリッフェル湖とマッターホルン▶



花咲く季節に憧れの山小屋に宿泊。朝夕の静けさ、満点の星空も楽しみ

スイス絶景の3つの山小屋 トレッキング 9日間

発着地 **東京・大阪**
出発日 **6/27(土)・7/4(土)・7/18(土)**
旅行代金 **518,000円～546,000円**

美しい山上湖グリンゼーとマッターホルン▶



アルプスの山麓に育まれた可憐な花々を訪ねるハイキングへ

スイス・アルプス フラワーハイキング 9日間

発着地 **東京・大阪・名古屋**
出発日 **6/23(火)**
旅行代金 **552,000円**

アイガーや氷河を望みながらウエンゲルンアルプへ▶



初夏ならではの花々を楽しみながらロッキーを代表する4つの人気トレイルを歩く

花咲くカナディアン・ロッキー 厳選ハイキング 7日間

発着地 **東京** ※6/24(水) 大阪発もあり
出発日 **6/17(水)・6/30(火)**
旅行代金 **398,000円**

初夏のヒーリークリークでは
グレーシャーリリー(黄色いカタクリ)が足下を彩る▶



Mt.ロブソンからアサバスカ氷河まで、見どころを一度に巡る日帰りコースの決定版

カナディアン・ロッキー核心部 縦断ゆったりハイキング 9日間

発着地 **東京**
出発日 **6/25(木)・7/9(木)・9/10(木)**
旅行代金 **498,000円～522,000円**

Mt.ロブソン南壁を仰ぎ見ながら、
高山植物の咲く山麓をキニーレイクまで往復▶



大自然の中にたたずむ人気のアシニボイン・ロッジになんと4連泊!

憧れのアシニボイン・ロッジ滞在 絶景ハイキング 9日間

発着地 **東京**
出発日 **6/25(木)・7/2(木)・7/9(木)・9/10(木)**
旅行代金 **598,000円～612,000円**

朝焼けに染まる
Mt.アシニボインとレイクメイゴック▶



旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第490号/一般社団法人日本旅行業協会 正会員 ©ボンド保証合員



アルパインツアーサービス株式会社

- 東京 / 〒105-0004 東京都港区新橋3-2-5 (第5東洋海ビル4階)
- 大阪 / 〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-3 (TCF肥後橋ビル2階)
- 名古屋 / 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-17-30 (ie桜通伏見ビルディング7階)
- 福岡 / 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-2-8 (セントラルビル5階)
- 北海道 / 北海道地区総代理店 (株)りんゆう観光 〒060-0909 札幌市東区北9条東2丁目
※北海道地区総代理店へはフリーコールはごさいませんので、直接おかけください。☎011(711)7106

山旅専用フリーコール **0120-938-290**

営業時間/平日: 9:30～18:30 土日祝: 定休

HP <http://www.alpine-tour.com>